

八女市
介護支援専門員アンケート
調査結果報告書

令和8年7月

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査設計及び回収結果.....	1
3. 調査結果の見方.....	1
第2章 回答者の基本的事項について.....	2
1. 基本属性.....	2
2. 介護支援専門員としての経験など.....	4
第3章 介護支援専門員の業務について.....	7
1. ケアプランの担当人数.....	7
2. 業務を遂行するうえで特に困難と感ずること.....	9
3. 利用者からの苦情について.....	11
4. 処遇困難事例について.....	13
5. 高齢者虐待について.....	15
6. ケアプラン作成時の医療機関からの情報提供について.....	18
第4章 地域包括ケアについて.....	19
1. 地域包括支援センターについて.....	19
2. 医療と介護の連携について.....	21
3. 地域包括支援センターについて今後充実させていくべきこと.....	26
第5章 介護保険・高齢者福祉全般について.....	27
1. 介護サービスのニーズ.....	27
2. 利用者負担が2割または3割になった人のサービス利用の変化.....	29
3. 「自宅」「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」の居住者で生活維持困難者の状況... ..	30
4. 高齢者の生活支援として必要なこと（インフォーマルサービスを含む）.....	38
5. 介護サービス等の充実のために八女市に期待すること.....	39
6. 保険者（八女市）に望むこと.....	41
7. 八女市の高齢者福祉・介護施策に対する意見.....	42

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、八女市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画策定の基礎資料として、介護支援専門員からみた本市における地域包括ケア推進のための課題等を把握することを目的に実施した。

2. 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	市内の居宅介護支援事業所（80人）、及び地域包括支援センター（26人）の介護支援専門員【106人】
調査方法	配布・回収ともに郵送（事業所・地域包括支援センター単位）
調査期間	令和8年6月15日～6月30日
調査事項	① 回答者の基本的事項について ② 介護支援専門員の業務について ③ 地域包括ケアについて ④ 介護保険・高齢者福祉全般について
有効回収数 (率)	79人（74.5%） 前回調査：96.6%

3. 調査結果の見方

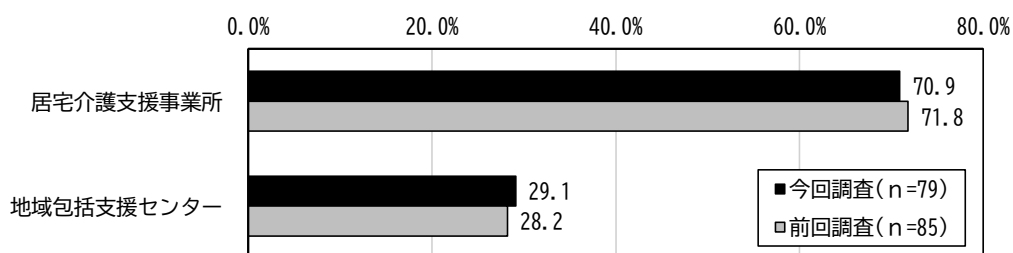
- ①回答は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ②グラフで前回調査とあるのは、令和5年7月実施の介護支援専門員アンケート調査の結果を指す。
- ③介護支援事業所と地域包括支援センター別のクロス集計表においては、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

第2章 回答者の基本的事項について

1. 基本属性

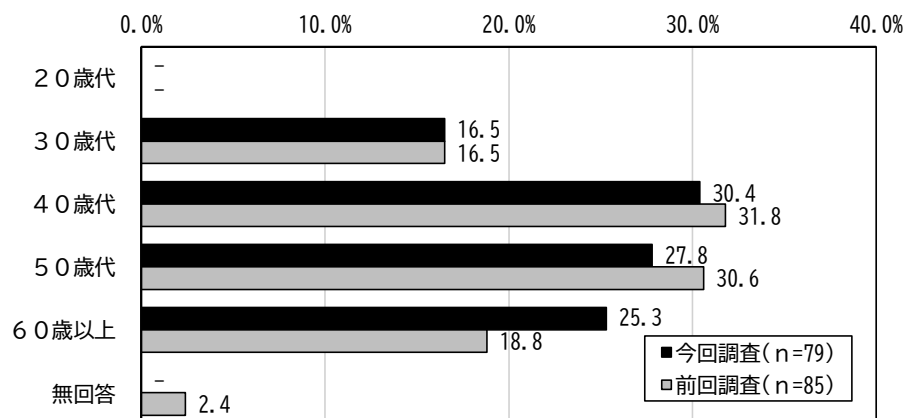
①所属

図表1 所属



②年齢

図表2 年齢

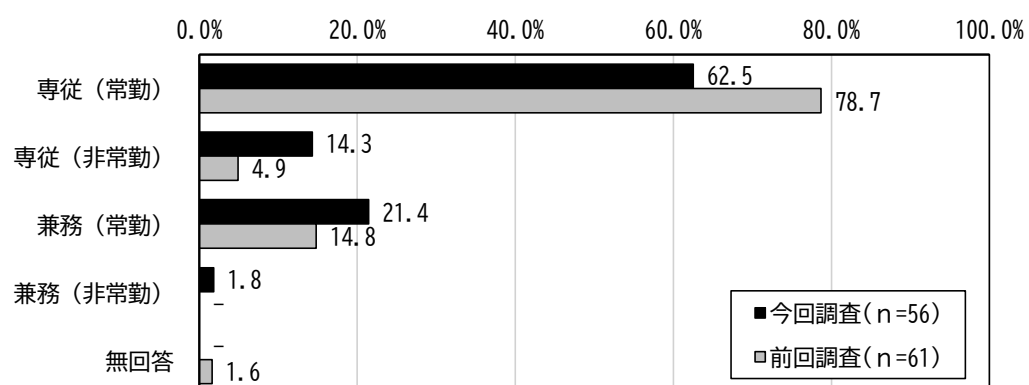


図表3 所属別 年齢

		上段：実数、下段：%						
		調 査 数	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 以 上	無 回 答
全 体		79 100.0	- -	13 16.5	24 30.4	22 27.8	20 25.3	- -
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	- -	8 14.3	16 28.6	17 30.4	15 26.8	- -
	地域包括支援センター	23 100.0	- -	5 21.7	8 34.8	5 21.7	5 21.7	- -

③勤務形態（居宅介護支援事業所）

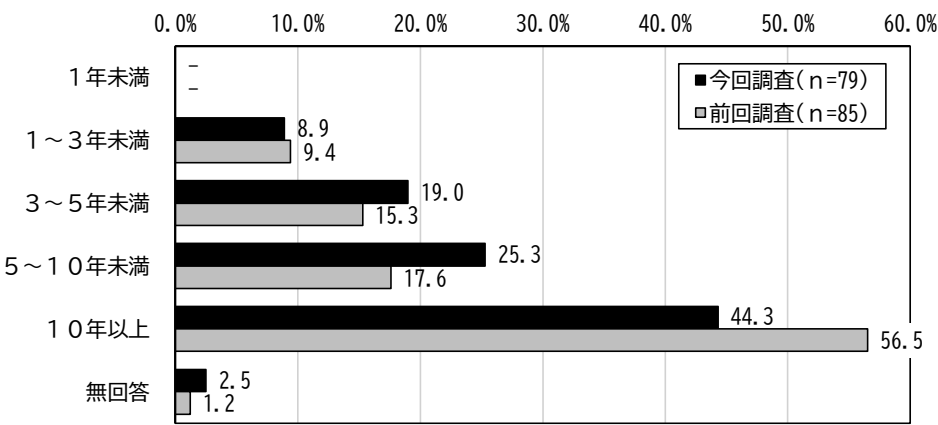
図表4 勤務形態（居宅介護支援事業所）



2. 介護支援専門員としての経験など

①経験年数

図表5 経験年数

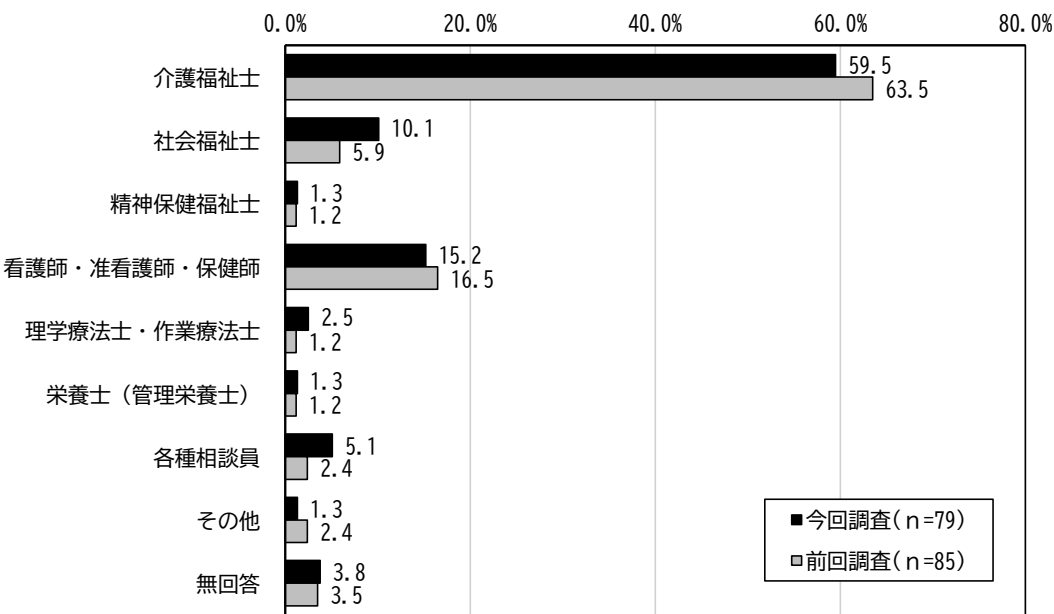


図表6 所属別 経験年数

		上段：実数、下段：%						
		調査数	1年未満	未1年未満3年	未3年未満5年	未5年未満10年	10年以上	無回答
全 体		79	-	7	15	20	35	2
		100.0	-	8.9	19.0	25.3	44.3	2.5
所 属	居宅介護支援事業所	56	-	5	10	13	27	1
		100.0	-	8.9	17.9	23.2	48.2	1.8
	地域包括支援センター	23	-	2	5	7	8	1
		100.0	-	8.7	21.7	30.4	34.8	4.3

②介護支援専門員になった基礎資格

図表7 介護支援専門員になった基礎資格



図表8 所属別 介護支援専門員になった基礎資格

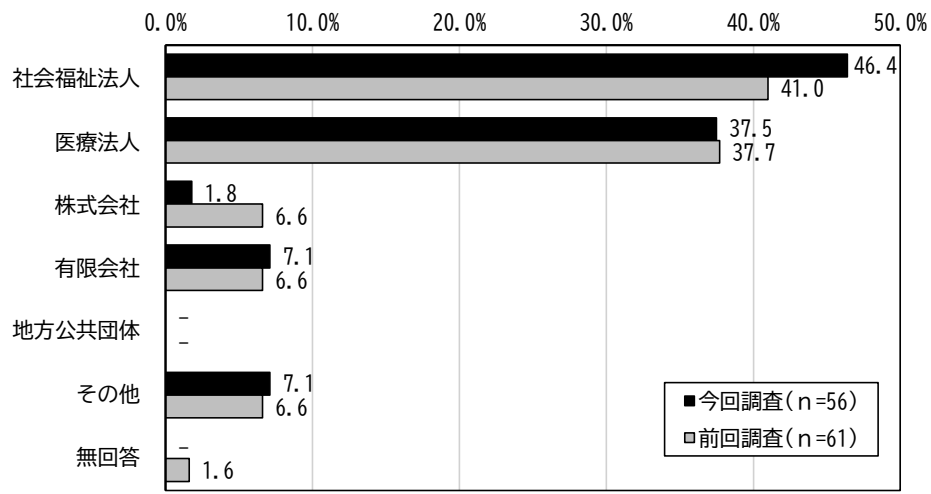
		上段：実数、下段：%									
		調査数	介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	看護師・准看護師・保健師	理学療法士・作業療法士	栄養士（管理栄養士）	各種相談員	その他	無回答
全 体		79 100.0	47 59.5	8 10.1	1 1.3	12 15.2	2 2.5	1 1.3	4 5.1	1 1.3	3 3.8
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	41 73.2	2 3.6	-	5 8.9	2 3.6	1 1.8	2 3.6	1 1.8	2 3.6
	地域包括支援センター	23 100.0	6 26.1	6 26.1	1 4.3	7 30.4	-	-	2 8.7	-	1 4.3

※「医師・歯科医師」「薬剤師」「歯科衛生士」「あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師、はり・きゅう師、技師装具士」「ホームヘルパー、訪問介護員」は無回答のため省略

第2章 回答者の基本的事項について

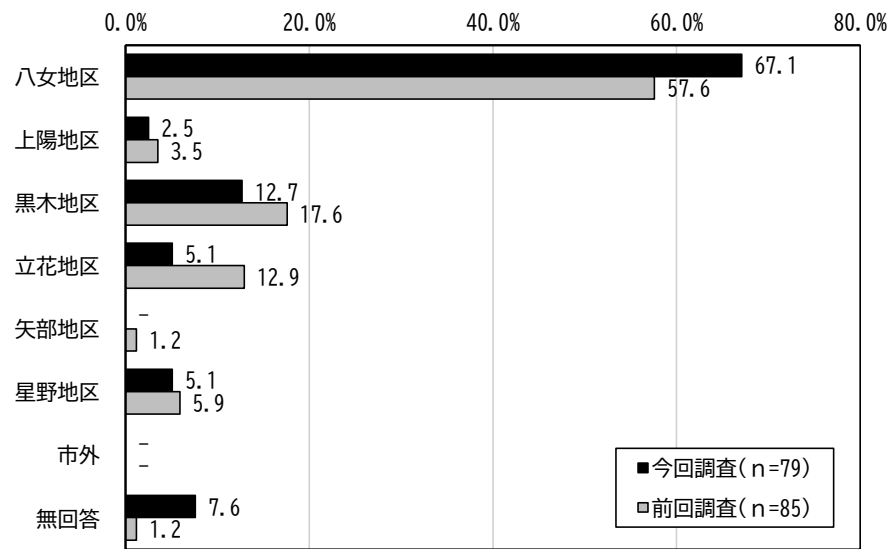
③所属介護支援事業所の法人種類

図表9 所属介護支援事業所の法人種類



④所属介護支援事業所または地域包括支援センターの所在地

図表10 所属介護支援事業所または地域包括支援センターの所在地



図表11 所属別 所属介護支援事業所または地域包括支援センターの所在地

		上段：実数、下段：%								
		調査数	八女地区	上陽地区	黒木地区	立花地区	矢部地区	星野地区	市外	無回答
全 体		79	53	2	10	4	-	4	-	6
		100.0	67.1	2.5	12.7	5.1	-	5.1	-	7.6
所 属	居宅介護支援事業所	56	42	2	3	3	-	4	-	2
		100.0	75.0	3.6	5.4	5.4	-	7.1	-	3.6
	地域包括支援センター	23	11	-	7	1	-	-	-	4
		100.0	47.8	-	30.4	4.3	-	-	-	17.4

第3章 介護支援専門員の業務について

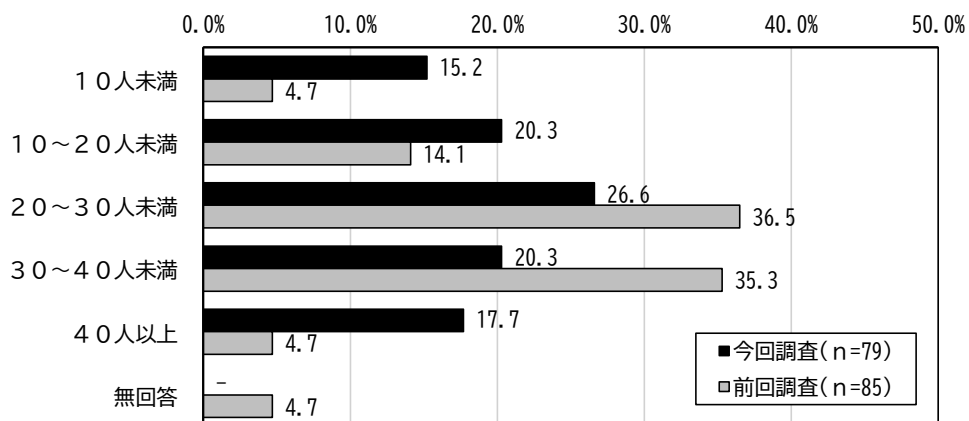
1. ケアプランの担当人数

①介護支援専門員1人当たりのケアプラン人数

問2-1 令和8年6月1日現在、あなたは何人のケアプランを担当していますか。

- 「20～30人未満」(26.6%)の割合が最も高く、次いで「10～20人未満」「30～40人未満」(ともに20.3%)、「40人以上」(17.7%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「10人未満」は10.5ポイント増加し、一方「30～40人未満」は15ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”では「20～30人未満」(35.7%)、“地域包括支援センター”では「10～20人未満」(34.8%)の割合が最も高い。また、平均は“居宅介護支援事業所”が27.2人、“地域包括支援センター”が23.1人となっている。

図表12 介護支援専門員1人当たりのケアプラン人数



図表13 所属別 介護支援専門員1人当たりのケアプラン人数

上段：実数、下段：%									
		調査数	10人未満	10～20人未満	20～30人未満	30～40人未満	40人以上	無回答	上段：プラン計 下段：平均
全 体		79 100.0	12 15.2	16 20.3	21 26.6	16 20.3	14 17.7	-	2,055 26.0
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	6 10.7	8 14.3	20 35.7	13 23.2	9 16.1	-	1,523 27.2
	地域包括支援センター	23 100.0	6 26.1	8 34.8	1 4.3	3 13.0	5 21.7	-	532 23.1

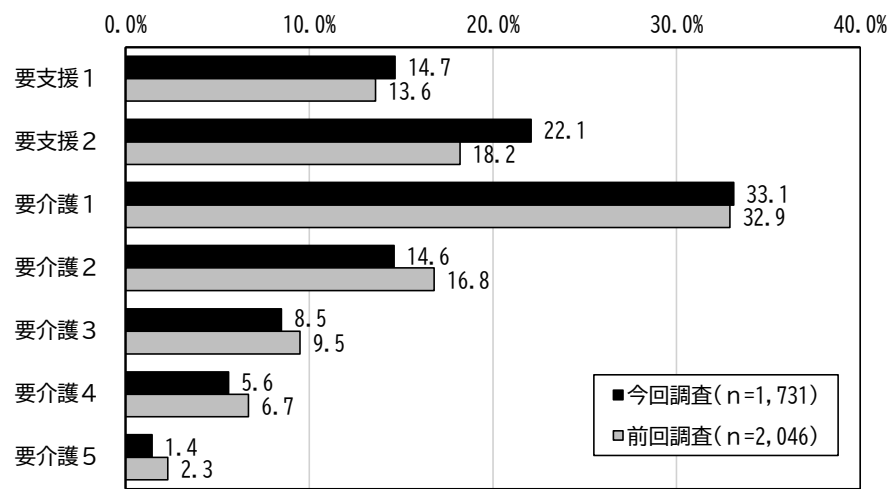
第3章 介護支援専門員の業務について

②要介護度別八女市の利用者数

問2-1 令和8年6月1日現在、あなたは何人のケアプランを担当していますか。

- 「要介護1」(33.1%)の割合が最も高く、次いで「要支援2」(22.1%)、「要支援1」(14.7%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、ほとんどの項目の割合に、あまり差は見られない。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”では「要介護1」(45.1%)、“地域包括支援センター”では「要支援2」(57.4%)の割合が最も高い。

図表14 要介護度別八女市の利用者数



図表15 所属別 要介護度別八女市の利用者数

		上段：実数、下段：%							
		合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体		1,731	254	382	573	253	147	97	25
(n=79)		100.0	14.7	22.1	33.1	14.6	8.5	5.6	1.4
所属	居宅介護支援事業所	1,271	58	118	573	253	147	97	25
	(n=56)	100.0	4.6	9.3	45.1	19.9	11.6	7.6	2.0
	地域包括支援センター	460	196	264					
	(n=23)	100.0	42.6	57.4					

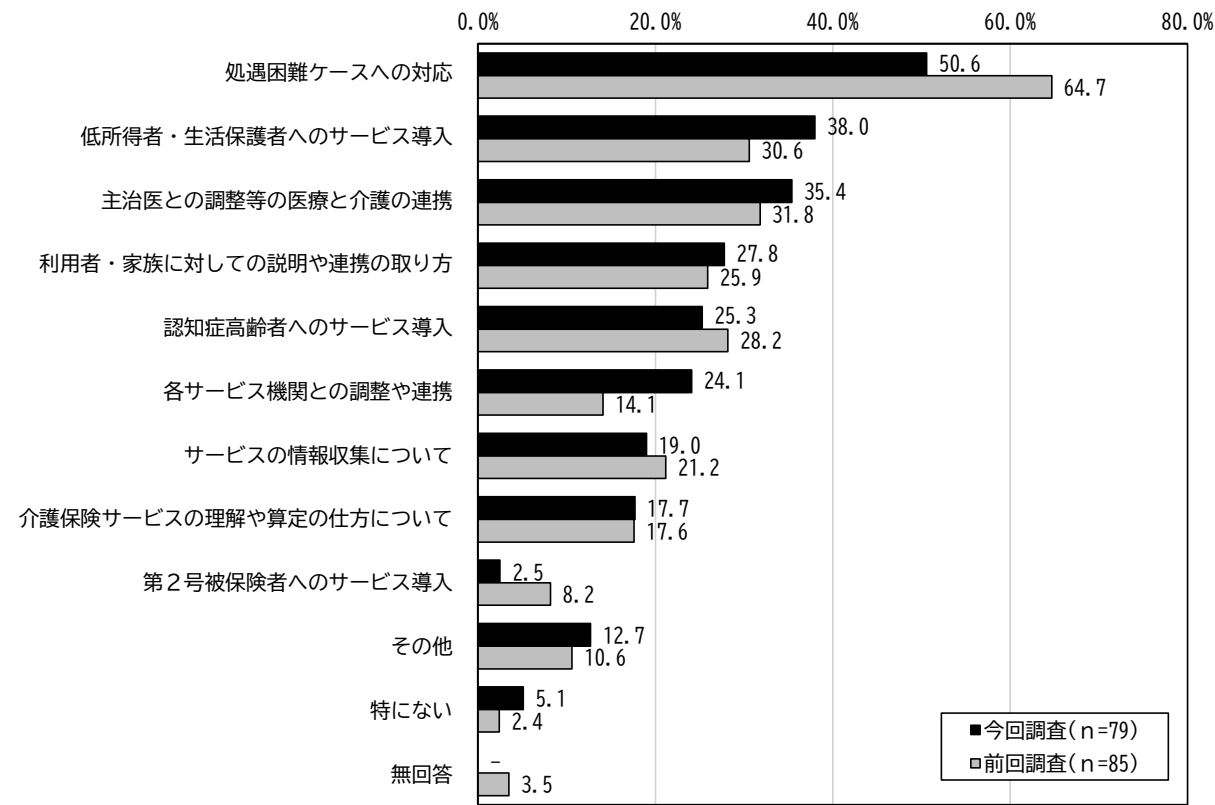
2. 業務を遂行するうえで特に困難と感ずること

①特に困難と感ずること

問3 ケアマネジャーとしての業務を遂行する上で特に困難と感ずることは何ですか。
(〇はいくつでも)

- 「処遇困難ケースへの対応」(50.6%)の割合が最も高く、次いで「低所得者・生活保護者へのサービス導入」(38.0%)、「主治医との調整等の医療と介護の連携」(35.4%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「処遇困難ケースへの対応」は14.1ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「処遇困難ケースへの対応」の割合が最も高くなっている。

図表16 特に困難と感ずること



図表17 所属別 特に困難と感ずること

		調査数	介護保険サービスの理解や算定の仕方について	サービスの情報収集について	各サービス機関との調整や連携	主治医と介護の連携等の調整	利用者の説明や家族への対応	処遇困難ケースへの対応	低所得者・生活保護者へのサービス導入	第2号被保険者へのサービス導入	認知症高齢者へのサービス導入	その他	特にない	無回答
全体		79	14	15	19	28	22	40	30	2	20	10	4	-
		100.0	17.7	19.0	24.1	35.4	27.8	50.6	38.0	2.5	25.3	12.7	5.1	-
所属	居宅介護支援事業所	56	11	11	14	20	18	29	23	2	13	7	2	-
		100.0	19.6	19.6	25.0	35.7	32.1	51.8	41.1	3.6	23.2	12.5	3.6	-
地域包括支援センター		23	3	4	5	8	4	11	7	-	7	3	2	-
		100.0	13.0	17.4	21.7	34.8	17.4	47.8	30.4	-	30.4	13.0	8.7	-

第3章 介護支援専門員の業務について

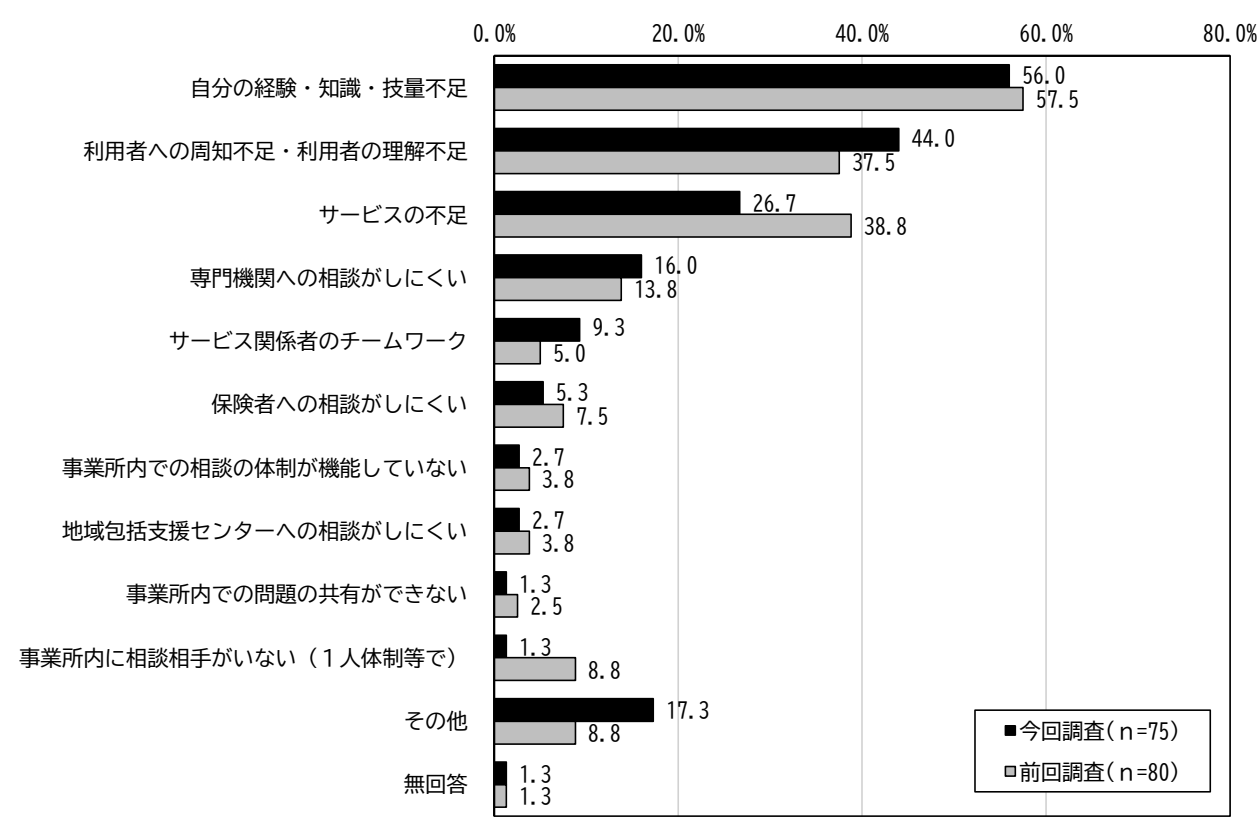
②困難と感じる理由

問3-1 困難と感じる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【問3で「1」～「10」と答えた方のみ】

- 「自分の経験・知識・技量不足」(56.0%)の割合が最も高く、次いで「利用者への周知不足・利用者の理解不足」(44.0%)、「サービスの不足」(26.7%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「サービスの不足」は12.1ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「自分の経験・知識・技量不足」の割合が最も高くなっている。

図表18 困難と感じる理由



図表19 所属別 困難と感じる理由

上段：実数、下段：%

		調査数	の事業共有ができない問題	いの事業ない制所内での機能し相談	（相事業一が所内人体制に相談で）	チサーームビウス関係者の	知自分の経験・知識・技量不足	理不利用解不足・利用者への周知	が専門に機関への相談	し保険者への相談が	に夕地くいへ包の括相支援がセン	サービスの不足	その他	無回答
全 体		75	1	2	1	7	42	33	12	4	2	20	13	1
		100.0	1.3	2.7	1.3	9.3	56.0	44.0	16.0	5.3	2.7	26.7	17.3	1.3
所 属	居宅介護支援事業所	54	1	2	1	3	31	26	5	4	2	11	8	1
		100.0	1.9	3.7	1.9	5.6	57.4	48.1	9.3	7.4	3.7	20.4	14.8	1.9
	地域包括支援センター	21	-	-	-	4	11	7	7	-	-	9	5	-
		100.0	-	-	-	19.0	52.4	33.3	33.3	-	-	42.9	23.8	-

3. 利用者からの苦情について

①利用者からの苦情の有無

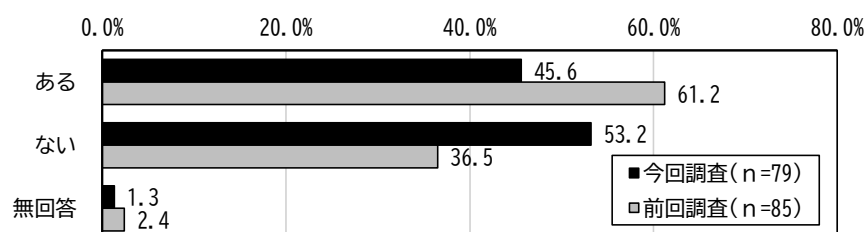
問4 利用者から、苦情を受けたことがありますか。(○は1つだけ)

○「ある」が45.6%、「ない」が53.2%になっている。

○前回調査に比べ、「ある」は15.6ポイント減少し、一方「ない」は16.7ポイント増加した。

○所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「ない」の割合の方が高くなっている。

図表20 利用者からの苦情の有無



図表21 所属別 利用者からの苦情の有無

上段：実数、下段：%

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		79	36	42	1
		100.0	45.6	53.2	1.3
所 属	居宅介護支援事業所	56	26	29	1
		100.0	46.4	51.8	1.8
地 域	地域包括支援センター	23	10	13	-
		100.0	43.5	56.5	-

第3章 介護支援専門員の業務について

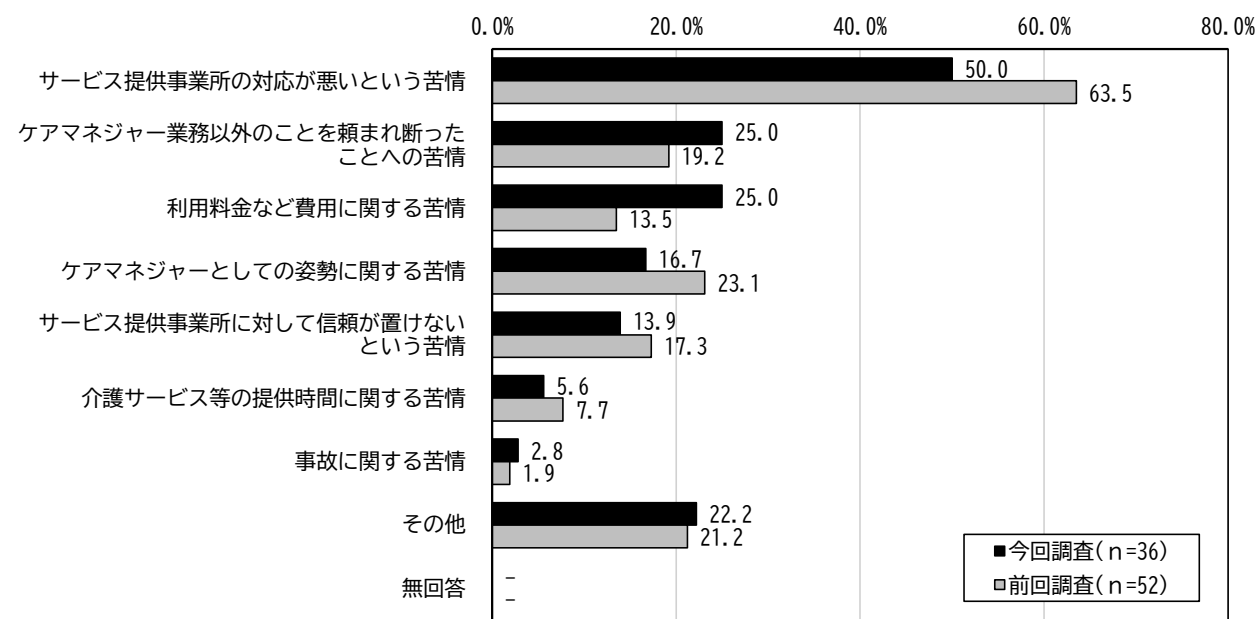
②苦情の内容

問4-1 どういった苦情を受けたことがありますか。(○はいくつでも)

【問4で「1」と答えた方のみ】

- 「サービス提供事業所の対応が悪いという苦情」(50.0%)の割合が最も高く、次いで「ケアマネジャー業務以外のことを頼まれ断ったことへの苦情」「利用料金など費用に関する苦情」(ともに25.0%)、「ケアマネジャーとしての姿勢に関する苦情」(16.7%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「サービス提供事業所の対応が悪いという苦情」は13.5ポイント減少し、一方「利用料金など費用に関する苦情」は11.5ポイント増加した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「サービス提供事業所の対応が悪いという苦情」の割合が最も高く、特に“地域包括支援センター”では80.0%と高い。

図表22 苦情の内容



図表23 所属別 苦情の内容

上段：実数、下段：%													
		調査数	サービスの提供事業 への対応が悪いと いう苦情	苦情 を 提供事業が 受けにくいという	サービスの提供事業 への信頼が ないという	業務以外のことを 頼まれた断ったこと への苦情	ケアマネジャー としての姿勢に 関する苦情	ケアマネジャー としての姿勢に 関する苦情	利用料金など費用 に関する苦情	介護サービス等の 提供時間に関する 苦情	事故に関する苦情	その他	無回答
全 体		36 100.0	18 50.0	5 13.9	9 25.0	6 16.7	9 25.0	2 5.6	1 2.8	8 22.2	-	-	-
所 属	居宅介護支援事業所	26 100.0	10 38.5	5 19.2	7 26.9	4 15.4	6 23.1	2 7.7	1 3.8	8 30.8	-	-	-
	地域包括支援センター	10 100.0	8 80.0	-	2 20.0	2 20.0	3 30.0	-	-	-	-	-	-

4. 処遇困難事例について

① 処遇困難事例の増減傾向

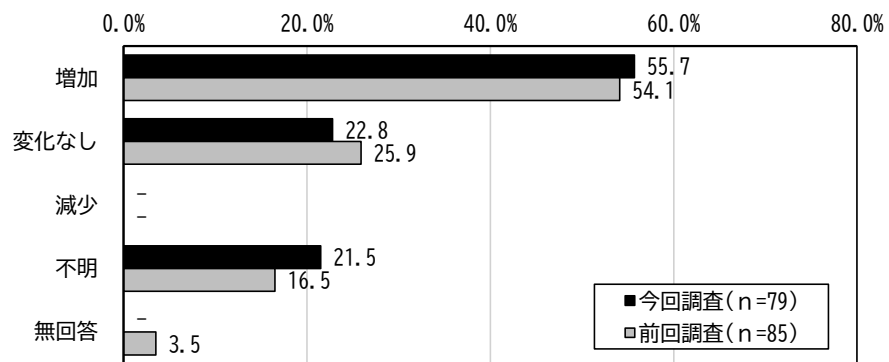
問5 八女市において、対応や支援が困難であるサービス利用者は、増加傾向にありますか、減少傾向にありますか。(○は1つ)

○「増加」(55.7%)の割合が最も高く、次いで「変化なし」(22.8%)、「不明」(21.5%)の順となっている。

○前回調査と比べ、ほとんどの項目の割合に、あまり差は見られない。

○所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「増加」の割合が最も高く、特に“地域包括支援センター”では78.3%と高い。

図表2-4 処遇困難事例の増減傾向



図表2-5 所属別 処遇困難事例の増減傾向

上段：実数、下段：%

		調査数	増加	変化なし	減少	不明	無回答
全 体		79	44	18	-	17	-
		100.0	55.7	22.8	-	21.5	-
所 属	居宅介護支援事業所	56	26	17	-	13	-
		100.0	46.4	30.4	-	23.2	-
地域包括支援センター		23	18	1	-	4	-
		100.0	78.3	4.3	-	17.4	-

第3章 介護支援専門員の業務について

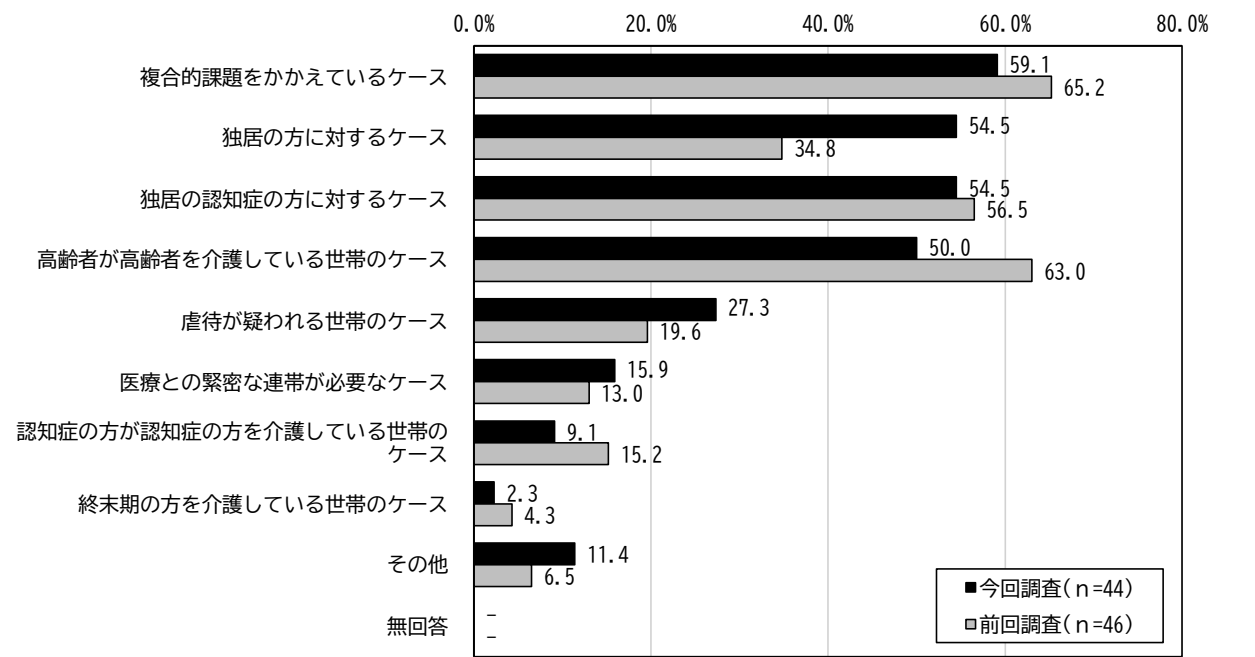
②増加しているケース

問5-1 具体的にどのようなケースが増加していると思いますか。(〇はいくつでも)

【問5で「1」と答えた方のみ】

- 「複合的課題をかかえているケース」(59.1%)の割合が最も高く、次いで「独居の方に対するケース」「独居の認知症の方に対するケース」(ともに54.5%)、「高齢者が高齢者を介護している世帯のケース」(50.0%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「独居の方に対するケース」は19.7ポイント増加し、一方「高齢者が高齢者を介護している世帯のケース」は13ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”では「独居の認知症の方に対するケース」(57.7%)、“地域包括支援センター”では「複合的課題をかかえているケース」(77.8%)の割合が最も高い。

図表26 増加しているケース



図表27 所属別 増加しているケース

		上段：実数、下段：%									
所属	調査数	独居の方に対する	独居の認知症の方	介護高齢者がいる世帯	認知症の方を介護している世帯	医療との緊密な連帯が必要なケース	虐待が疑われる世帯	終末期の方を介護している世帯	複合的課題をかかえているケース	その他	無回答
		24	24	22	4	7	12	1	26	5	-
全体	44	54.5	54.5	50.0	9.1	15.9	27.3	2.3	59.1	11.4	-
居宅介護支援事業所	26	13	15	13	3	5	8	1	12	4	-
	100.0	50.0	57.7	50.0	11.5	19.2	30.8	3.8	46.2	15.4	-
地域包括支援センター	18	11	9	9	1	2	4	-	14	1	-
	100.0	61.1	50.0	50.0	5.6	11.1	22.2	-	77.8	5.6	-

5. 高齢者虐待について

①高齢者虐待または疑われるケースの経験の有無

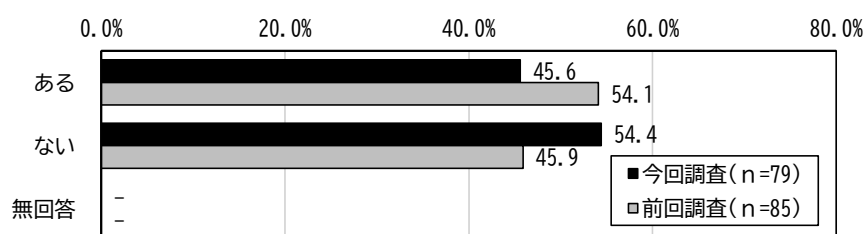
問6 あなたは、八女市において、高齢者虐待のケースまたは虐待が疑われるケースを経験（担当）したことがありますか。（○は1つ）

○「ある」が45.6%、「ない」が54.4%になっている。

○前回調査に比べ、「ある」は8.5ポイント減少し、一方「ない」は8.5ポイント増加した。

○所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「ない」の割合の方が高い。

図表28 高齢者虐待または疑われるケースの経験の有無



図表29 所属別 高齢者虐待または疑われるケースの経験の有無

上段：実数、下段：%

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		79	36	43	-
		100.0	45.6	54.4	-
所 属	居宅介護支援事業所	56	27	29	-
		100.0	48.2	51.8	-
地域包括支援センター		23	9	14	-
		100.0	39.1	60.9	-

第3章 介護支援専門員の業務について

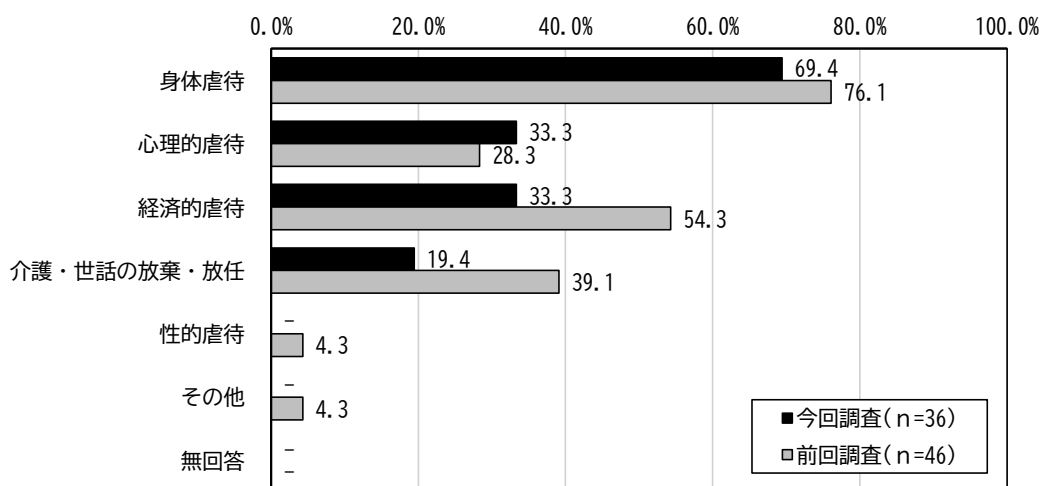
②虐待の内容

問6-1 どのような虐待でしたか。(〇はいくつでも)

【問6で「1」と答えた方のみ】

- 「身体虐待」(69.4%)の割合が最も高く、次いで「心理的虐待」「経済的虐待」(ともに33.3%)、「介護・世話の放棄・放任」(19.4%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「経済的虐待」は21ポイント、「介護・世話の放棄・放任」は19.7ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「身体虐待」の割合が最も高い。

図表30 虐待の内容



図表31 所属別 虐待の内容

上段：実数、下段：%

		調査数	身体虐待	心理的虐待	経済的虐待	性的虐待	介護・世話の放棄・放任	その他	無回答
全 体		36	25	12	12	-	7	-	-
		100.0	69.4	33.3	33.3	-	19.4	-	-
所 属	居宅介護支援事業所	27	19	7	10	-	5	-	-
		100.0	70.4	25.9	37.0	-	18.5	-	-
所 属	地域包括支援センター	9	6	5	2	-	2	-	-
		100.0	66.7	55.6	22.2	-	22.2	-	-

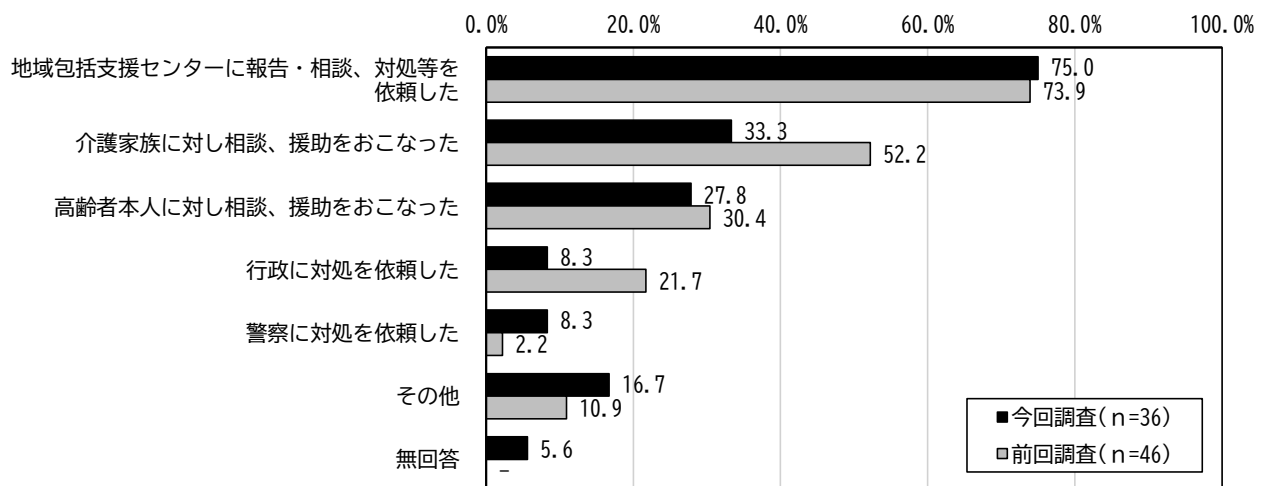
③対処の内容

問6-2 あなたはどのように対処をしましたか。(○はいくつでも)

【問6で「1」と答えた方のみ】

- 「地域包括支援センターに報告・相談、対処等を依頼した」(75.0%)の割合が最も高く、次いで「介護家族に対し相談、援助をおこなった」(33.3%)、「高齢者本人に対し相談、援助をおこなった」(27.8%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「介護家族に対し相談、援助をおこなった」は18.9ポイント、「行政に対処を依頼した」は13.4ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「地域包括支援センターに報告・相談、対処等を依頼した」の割合が最も高く、特に“居宅介護支援事業所”では85.2%と高い。

図表3-2 対処の内容



図表3-3 所属別 対処の内容

上段：実数、下段：%

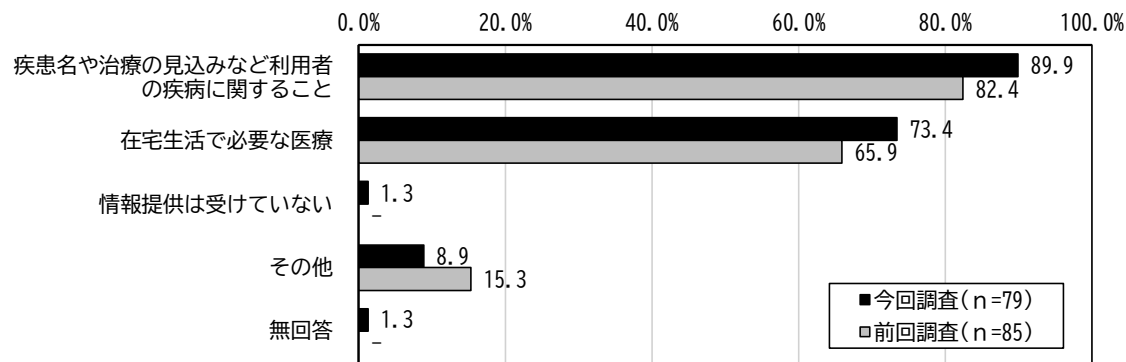
		調査数	介護家族に対し 相談、援助を おこなった	依頼した 相談、対処等を 行った	地域包括支援セン ターに報告・支 援した	高齢者本人に 相談、援助をお こなった	行政に対処を依 頼した	警察に対処を依 頼した	その他	無回答
全 体		36 100.0	12 33.3	27 75.0	10 27.8	3 8.3	3 8.3	6 16.7	2 5.6	
所 属	居宅介護支援事業所	27 100.0	9 33.3	23 85.2	8 29.6	3 11.1	1 3.7	4 14.8	1 3.7	
	地域包括支援センター	9 100.0	3 33.3	4 44.4	2 22.2	- -	2 22.2	2 22.2	1 11.1	

6. ケアプラン作成時の医療機関からの情報提供について

問7（1）ケアプランを作成する際、医療機関から必要な情報を受けていますか。（○はいくつでも）

- 「疾患名や治療の見込みなど利用者の疾病に関すること」（89.9%）の割合が最も高く、次いで「在宅生活に必要な医療」（73.4%）、「情報提供は受けていない」（1.3%）の順となっている。
- 前回調査と比べ、上位2項目はともに7.5ポイント増加した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「疾患名や治療の見込みなど利用者の疾病に関すること」の割合が最も高い。また、「在宅生活に必要な医療」は“居宅介護支援事業所”が82.1%で、“地域包括支援センター”の52.2%に比べ高い。

図表34 ケアプラン作成時の医療機関からの情報提供について



図表35 所属別 ケアプラン作成時の医療機関からの情報提供について

上段：実数、下段：％							
		調 査 数	疾患名や治療の見 込みなど利用者の 疾病に関すること	在宅生活で必要 な医療	情報提供は受けて いない	その他	無 回 答
全 体		79 100.0	71 89.9	58 73.4	1 1.3	7 8.9	1 1.3
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	51 91.1	46 82.1	1 1.8	5 8.9	-
	地域包括支援センター	23 100.0	20 87.0	12 52.2	-	2 8.7	1 4.3

第4章 地域包括ケアについて

1. 地域包括支援センターについて

(1) 地域包括支援センターと居宅介護支援事業所との連携について

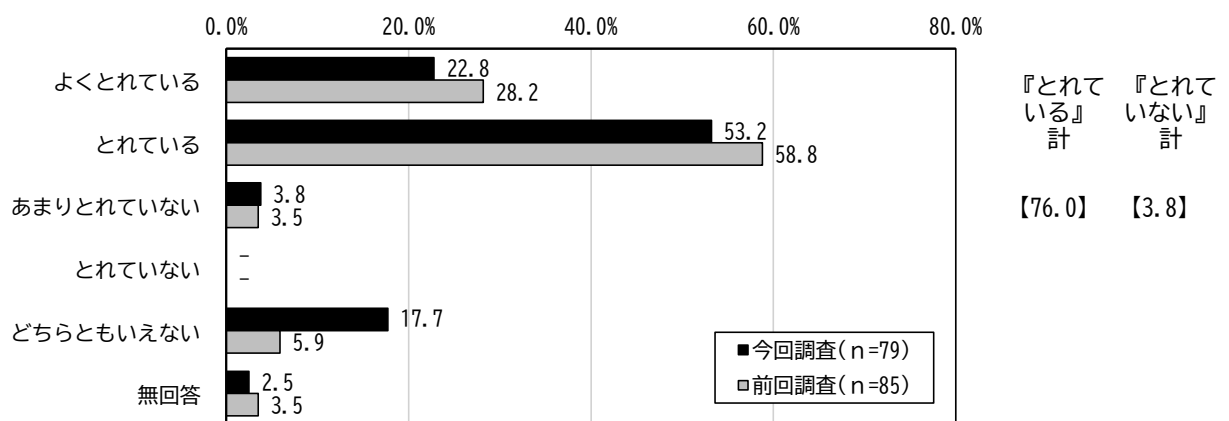
問8 八女市の地域包括支援センター（居宅介護支援事業所）との連携はとれていますか。

○「よくとれている」と「とれている」を合わせた『とれている』の割合が76.0%、「あまりとれていない」と「とれていない」を合わせた『とれていない』の割合が3.8%となっている。

○『とれている』の割合は前回調査の87.0%と比べ、11ポイント減少した。

○『とれている』の割合は、“居宅介護支援事業所”が76.8%、“地域包括支援センター”が73.9%となっている。また、「よくとれている」の割合は、“居宅介護支援事業所”（26.8%）が“地域包括支援センター”（13.0%）のおよそ2倍となっている。

図表36 地域包括支援センターと居宅介護支援事業所との連携について



図表37 所属別 地域包括支援センターと居宅介護支援事業所との連携について

上段：実数、下段：%

		調査数	よくとれている	とれている	あまりとれていない	とれていない	どちらともいえない	無回答	『とれている』	『とれていない』
全 体		79	18	42	3	-	14	2	60	3
		100.0	22.8	53.2	3.8	-	17.7	2.5	76.0	3.8
所 属	居宅介護支援事業所	56	15	28	2	-	10	1	43	2
		100.0	26.8	50.0	3.6	-	17.9	1.8	76.8	3.6
所 属	地域包括支援センター	23	3	14	1	-	4	1	17	1
		100.0	13.0	60.9	4.3	-	17.4	4.3	73.9	4.3

第4章 地域包括ケアについて

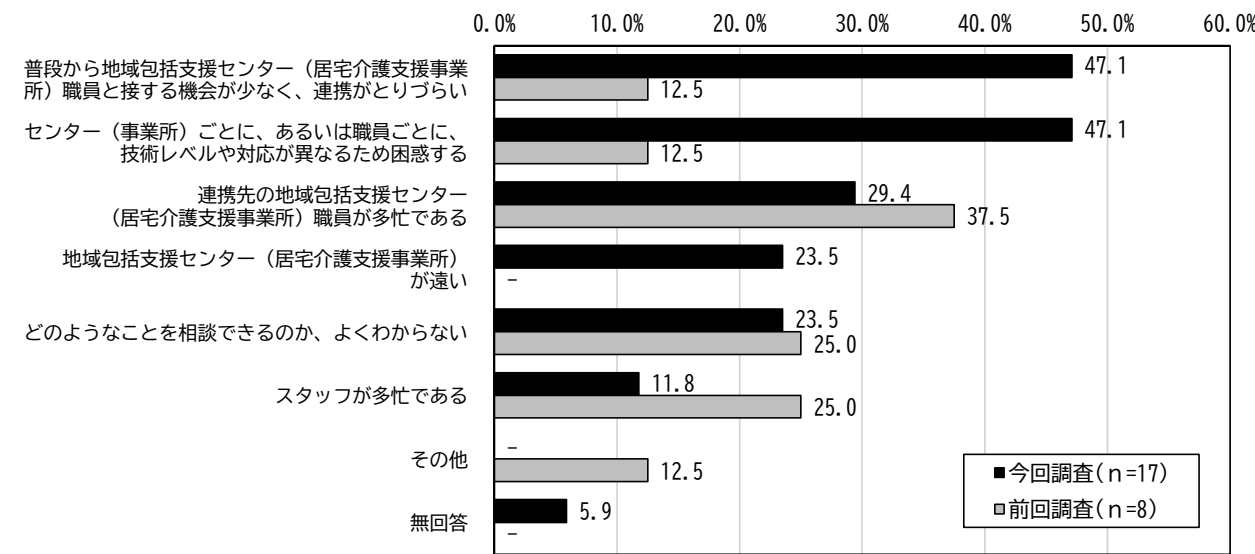
(2) 連携がとれていないと感じること

問8-1 どのような事で連携がとれていないと感じますか。(〇はいくつでも)

【問8で「3」「4」「5」と答えた方のみ】

- 「普段から地域包括支援センター（居宅介護支援事業所）職員と接する機会が少なく、連携がとりづらい」「センター（事業所）ごとに、あるいは職員ごとに、技術レベルや対応が異なるため困惑する」（ともに 47.1%）の割合が最も高く、次いで「連携先の地域包括支援センター（居宅介護支援事業所）職員が多忙である」（29.4%）、「地域包括支援センター（居宅介護支援事業所）が遠い」（23.5%）の順となっている。
- 前回調査と比べ、「普段から地域包括支援センター（居宅介護支援事業所）職員と接する機会が少なく、連携がとりづらい」と「センター（事業所）ごとに、あるいは職員ごとに、技術レベルや対応が異なるため困惑する」とともに 34.6 ポイント増加した。
- 所属別にみると、全体でみた上位2項目は、“地域包括支援センター”の方が 80.0%と高い割合になっている。

図表38 連携がとれていないと感じること



図表39 所属別 連携がとれていないと感じること

上段：実数、下段：%										
		調査数	スタッフが多忙である	連携先の地域包括支援センター（居宅介護支援事業所）職員が多忙である	地域包括支援センター（居宅介護支援事業所）が遠い	普段から地域包括支援センター（居宅介護支援事業所）職員と接する機会が少なく、連携がとりづらい	どのようなことを相談できるのか、よくわからない	センター（事業所）ごとに、あるいは職員ごとに、技術レベルや対応が異なるため困惑する	その他	無回答
全 体		17 100.0	2 11.8	5 29.4	4 23.5	8 47.1	4 23.5	8 47.1	- -	1 5.9
所 属	居宅介護支援事業所	12 100.0	- -	2 16.7	3 25.0	4 33.3	4 33.3	4 33.3	- -	1 8.3
	地域包括支援センター	5 100.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	4 80.0	- -	4 80.0	- -	- -

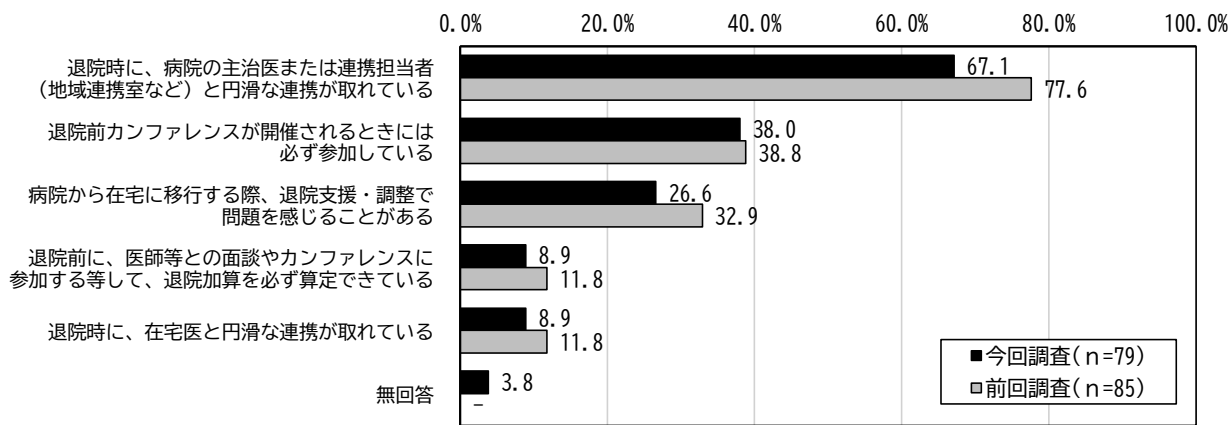
2. 医療と介護の連携について

(1) 利用者の退院支援や調整の現状

問7(2) 利用者の退院支援や調整について、あなたの現状に近いものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- 「退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携が取れている」(67.1%)の割合が最も高く、次いで「退院前カンファレンスが開催されるときには必ず参加している」(38.0%)、「病院から在宅に移行する際、退院支援・調整で問題を感じることもある」(26.6%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、すべての項目で割合が減少したが、特に「退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携が取れている」は10.5ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携が取れている」の割合が最も高く、特に“居宅介護支援事業所”では71.4%と高い。

図表40 利用者の退院支援や調整の現状



図表41 所属別 利用者の退院支援や調整の現状

上段：実数、下段：％									
		調査数	退院から在宅に移行する際、 退院支援・調整で問題を感じ ることがある	退院前カンファレンスが 開催されるときには必ず 参加している	必ず算定できている	退院前に、医師等との面談や カンファレンスに参加 する等して、退院加算を	退院時に、病院の主治医 または連携担当者（地域連 携など）と円滑な連携が 取れている	退院時に、在宅医と円滑な連 携が取れている	無回 答
全 体		79 100.0	21 26.6	30 38.0	7 8.9	53 67.1	7 8.9	3 3.8	
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	15 26.8	23 41.1	7 12.5	40 71.4	6 10.7	1 1.8	
	地域包括支援センター	23 100.0	6 26.1	7 30.4	－ －	13 56.5	1 4.3	2 8.7	

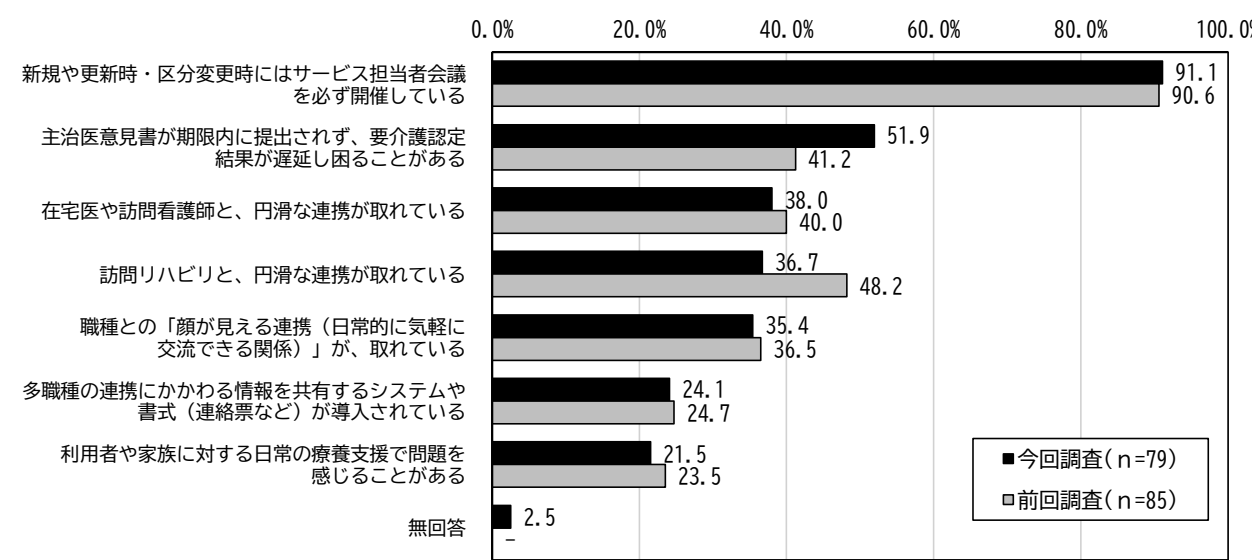
第4章 地域包括ケアについて

(2) 利用者の在宅での日常の療養支援の現状

問7(3) 利用者の在宅での日常の療養支援について、あなたの現状に近いものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

- 「新規や更新時・区分変更時にはサービス担当者会議を必ず開催している」(91.1%)の割合が最も高く、次いで「主治医意見書が期限内に提出されず、要介護認定結果が遅延し困ることがある」(51.9%)、「在宅医や訪問看護師と、円滑な連携が取れている」(38.0%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「主治医意見書が期限内に提出されず、要介護認定結果が遅延し困ることがある」は10.7ポイント増加し、一方「訪問リハビリと、円滑な連携が取れている」は11.5ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「新規や更新時・区分変更時にはサービス担当者会議を必ず開催している」の割合が最も高い。

図表4-2 利用者の在宅での日常の療養支援の現状



図表4-3 所属別 利用者の在宅での日常の療養支援の現状

上段：実数、下段：%												
		調査数	が療利用延さ主開は新規て式情多円在連訪関（職）無 ある養者しれ治催サ規い報職宅滑宅問問係日種答 支援で要見書意ビ更ス新る共の連や訪ハビに「顔 に問にがあ認期者・区会分変更にしか看護れに見 感ずる日果に議変更入ムるで交え 常この提遅出に必時やさやる連	79 100.0	17 21.5	41 51.9	72 91.1	19 24.1	30 38.0	29 36.7	28 35.4	2 2.5
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	11 19.6	26 46.4	52 92.9	14 25.0	25 44.6	23 41.1	22 39.3	-	-	-
	地域包括支援センター	23 100.0	6 26.1	15 65.2	20 87.0	5 21.7	5 21.7	6 26.1	6 26.1	2 8.7	2 8.7	2 8.7

(3) 利用者の急変時の対応の現状

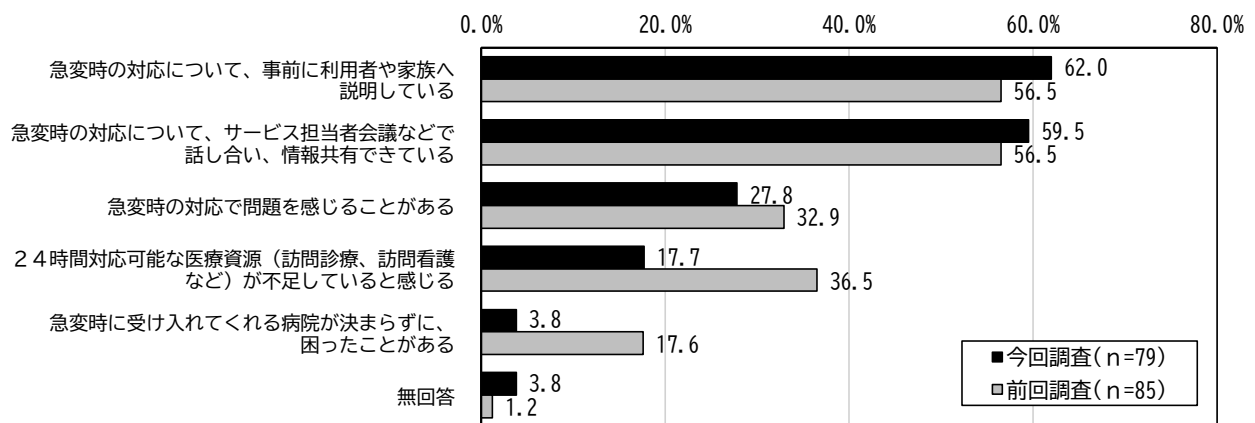
問7(4) 利用者の急変時の対応について、あなたの現状に近いものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

○「急変時の対応について、事前に利用者や家族へ説明している」(62.0%)の割合が最も高く、次いで「急変時の対応について、サービス担当者会議などで話し合い、情報共有できている」(59.5%)、「急変時の対応で問題を感じることがある」(27.8%)の順となっている。

○前回調査と比べ、「24時間対応可能な医療資源(訪問診療、訪問看護など)が不足していると感じる」は18.8ポイント、「急変時に受け入れてくれる病院が決まらずに、困ったことがある」は13.8ポイント減少した。

○所属別にみると、「居宅介護支援事業所」では「急変時の対応について、サービス担当者会議などで話し合い、情報共有できている」(69.6%)、「地域包括支援センター」では「急変時の対応について、事前に利用者や家族へ説明している」(47.8%)の割合が最も高い。

図表4-4 利用者の急変時の対応の現状



図表4-5 所属別 利用者の急変時の対応の現状

		上段：実数、下段：%					
		調査数	急変時の対応で問題を感じる	急変時に利用者や家族へ説明している	急変時の対応について、サービス担当者会議などで話し合い、情報共有できている	急変時の対応で問題を感じることがある	24時間対応可能な医療資源(訪問診療、訪問看護など)が不足していると感じる
全 体		79	22	49	47	14	3
		100.0	27.8	62.0	59.5	17.7	3.8
所 属	居宅介護支援事業所	56	13	38	39	10	1
		100.0	23.2	67.9	69.6	17.9	1.8
地域包括支援センター		23	9	11	8	4	2
		100.0	39.1	47.8	34.8	17.4	8.7

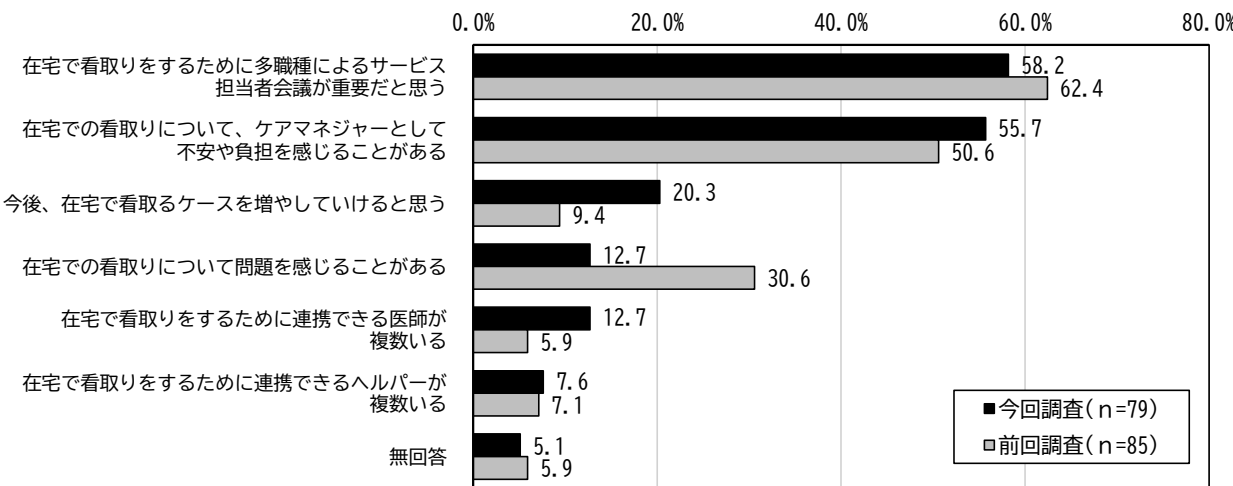
第4章 地域包括ケアについて

(4) 利用者の在宅での看取りの現状

問7(5) 利用者の在宅での看取りについて、あなたの現状に近いものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

- 「在宅で看取りをするために多職種によるサービス担当者会議が重要だと思う」(58.2%)の割合が最も高く、次いで「在宅での看取りについて、ケアマネジャーとして不安や負担を感じることがある」(55.7%)、「今後、在宅で看取るケースを増やしていけると思う」(20.3%)の順となっている。
- 前回調査と比べ、「今後、在宅で看取るケースを増やしていけると思う」は10.9ポイント増加し、一方「在宅での看取りについて問題を感じることがある」は17.9ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”では「在宅で看取りをするために多職種によるサービス担当者会議が重要だと思う」(66.1%)、“地域包括支援センター”では「在宅での看取りについて、ケアマネジャーとして不安や負担を感じることがある」(52.2%)の割合が最も高い。

図表4-6 利用者の在宅での看取りの現状



図表4-7 所属別 利用者の在宅での看取りの現状

上段：実数、下段：%									
		調査数	在宅での看取りについて問題を感じることがある	在宅での看取りについて、ケアマネジャーとして不安や負担を感じることもある	今後、在宅で看取るケースを増やしていけると思う	在宅で看取りをするために連携できる医師が複数いる	在宅で看取りをするために連携できるヘルパーが複数いる	在宅で看取りをするために多職種によるサービス担当者会議が重要だと思う	無回答
全 体		79 100.0	10 12.7	44 55.7	16 20.3	10 12.7	6 7.6	46 58.2	4 5.1
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	7 12.5	32 57.1	14 25.0	10 17.9	6 10.7	37 66.1	1 1.8
	地域包括支援センター	23 100.0	3 13.0	12 52.2	2 8.7	- -	- -	9 39.1	3 13.0

(5) 医療と連携するうえでの課題

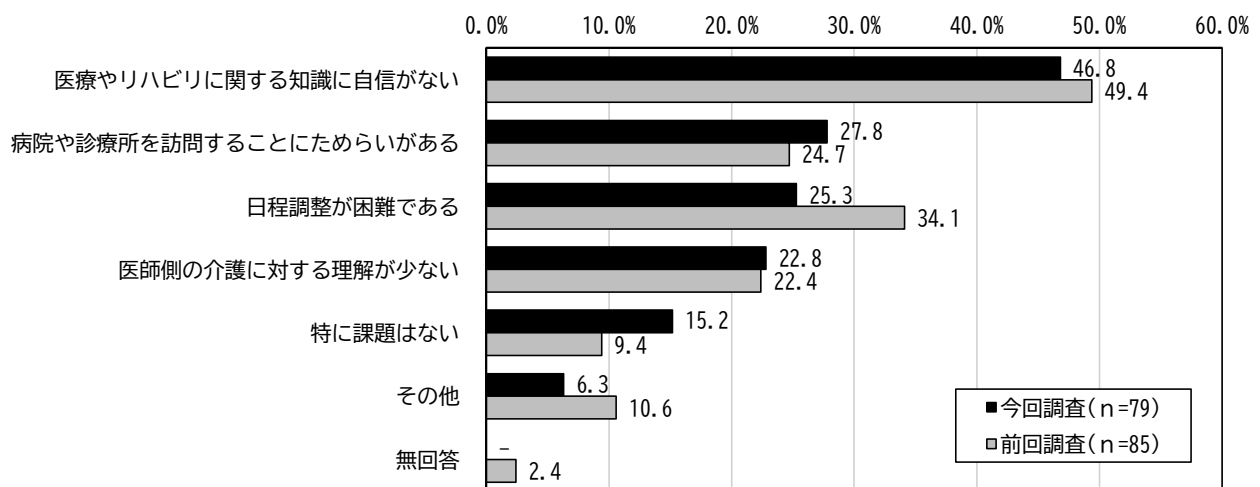
問7(6) 医療と連携する上で、あなた自身はどのような点が課題ですか。(○はいくつでも)

○「医療やリハビリに関する知識に自信がない」(46.8%)の割合が最も高く、次いで「病院や診療所を訪問することにためらいがある」(27.8%)、「日程調整が困難である」(25.3%)の順となっている。

○前回調査と比べ、「日程調整が困難である」は8.8ポイント減少した。

○所属別にみると、“居宅介護支援事業所”と“地域包括支援センター”ともに、「医療やリハビリに関する知識に自信がない」の割合が最も高い。

図表48 医療と連携するうえでの課題



図表49 所属別 医療と連携するうえでの課題

		上段：実数、下段：%							
		調査数	医療やリハビリに関する知識に自信がない	医師側の介護に対する理解が少ない	訪問や診療所を病院内のことにするということがある	日程調整が困難である	特に課題はない	その他	無回答
全 体		79 100.0	37 46.8	18 22.8	22 27.8	20 25.3	12 15.2	5 6.3	- -
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	26 46.4	11 19.6	15 26.8	14 25.0	10 17.9	5 8.9	- -
	地域包括支援センター	23 100.0	11 47.8	7 30.4	7 30.4	6 26.1	2 8.7	- -	- -

3. 地域包括支援センターについて今後充実させていくべきこと

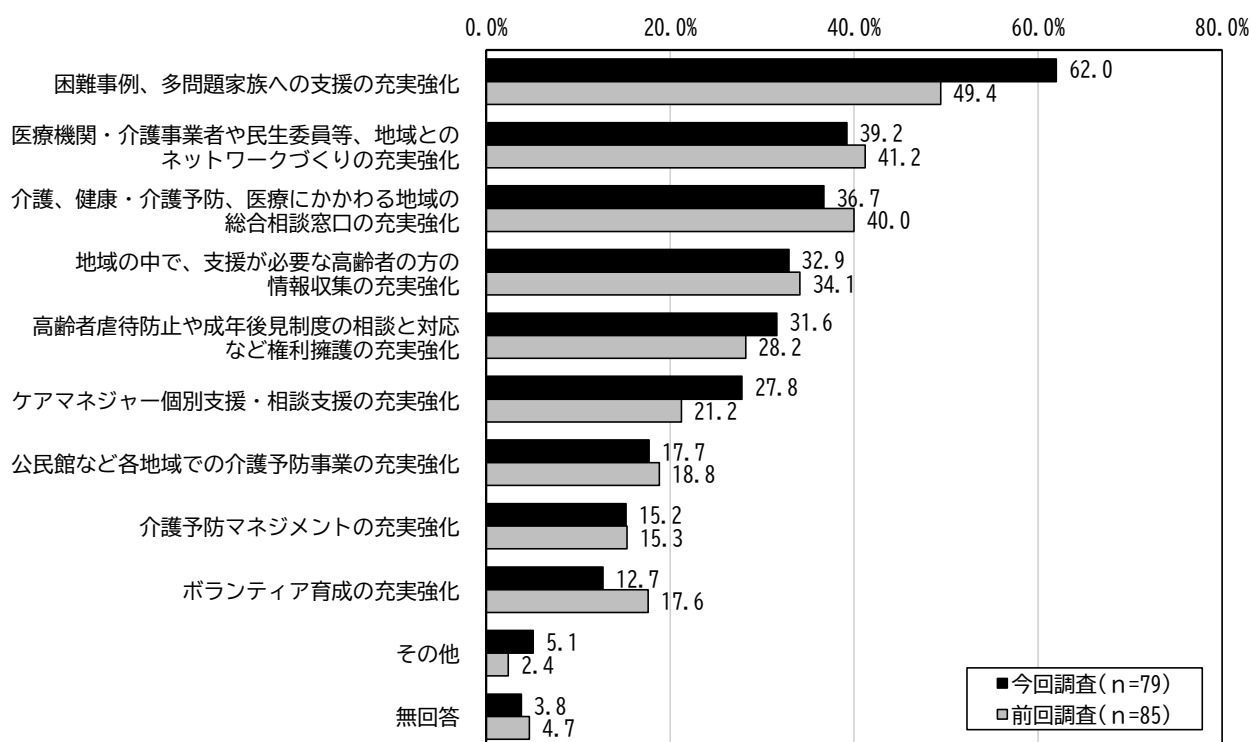
問9 八女市の地域包括支援センターについて、今後、充実させていくべきと考えられるものについてお答えください。(〇はいくつでも)

○「困難事例、多問題家庭への支援の充実強化」(62.0%)の割合が最も高く、次いで、「医療機関・介護事業者や民生委員等、地域とのネットワークづくりの充実強化」(39.2%)、「介護、健康・介護予防、医療にかかわる地域の総合相談窓口の充実強化」(36.7%)の順となっている。

○前回調査と比べ、「困難事例、多問題家庭への支援の充実強化」は12.6ポイント増加した。

○所属別にみると、「居宅介護支援事業所」と「地域包括支援センター」とともに、「困難事例、多問題家庭への支援の充実強化」の割合が最も高い。

図表50 地域包括支援センターについて今後充実させていくべきこと



図表51 所属別 地域包括支援センターについて今後充実させていくべきこと

上段：実数、下段：%

		調査数	介護予防マネジメントの充実強化	介護・健康・介護予防、医療にかかわる地域の総合相談窓口の充実強化	高齢者虐待防止や成年後見制度の相談と対応など権利擁護の充実強化	困難事例、多問題家族への支援の充実強化	ケアマネジャー個別支援・相談支援の充実強化	地域の中で、支援が必要な高齢者の方の情報収集の充実強化	医療機関・介護事業者や民生委員等、地域とのネットワークづくりの充実強化	公民館など各地域での介護予防事業の充実強化	ボランティア育成の充実強化	その他	無回答
全 体		79	12	29	25	49	22	26	31	14	10	4	3
		100.0	15.2	36.7	31.6	62.0	27.8	32.9	39.2	17.7	12.7	5.1	3.8
所 属	居宅介護支援事業所	56	7	22	16	34	16	16	21	7	6	3	2
		100.0	12.5	39.3	28.6	60.7	28.6	28.6	37.5	12.5	10.7	5.4	3.6
所 属	地域包括支援センター	23	5	7	9	15	6	10	10	7	4	1	1
		100.0	21.7	30.4	39.1	65.2	26.1	43.5	43.5	30.4	17.4	4.3	4.3

第5章 介護保険・高齢者福祉全般について

1. 介護サービスのニーズ

問12 ケアプラン（介護予防プラン）の作成または見直し時に、八女市において

- ①利用者（家族含む）の利用希望が多い介護保険サービス
- ②あなたが八女市において供給が不足していると感じる介護保険サービスについて、あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

○利用者の利用希望が多いサービスについて、予防給付では無回答を除くと49.4%が回答した。そのうち、「福祉用具の貸与」(36.7%)の割合が最も高く、次いで「住宅改修」(29.1%)、「通所リハビリテーション」(27.8%)の順となっている。

○利用者の利用希望が多いサービスについて、介護給付では無回答を除くと64.6%が回答した。そのうち、「通所介護」(53.2%)の割合が最も高く、次いで「福祉用具の貸与」(44.3%)、「短期入所生活介護」(40.5%)の順となっている。

○供給不足と感じるサービスについて、予防給付では無回答を除くと27.8%が回答した。そのうち、「通所リハビリテーション」(11.4%)の割合が最も高く、次いで「看護小規模多機能型居宅介護」「短期入所生活介護」(ともに6.3%)、「小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型通所介護」(ともに5.1%)の順となっている。

○供給不足と感じるサービスについて、介護給付では無回答を除くと65.8%が回答した。そのうち、「訪問介護」(30.4%)の割合が最も高く、次いで「短期入所生活介護」(29.1%)、「短期入所療養介護」(16.5%)の順となっている。

図表5 2 介護サービスのニーズ

単位：％

種類		利用者の利用希望が多いサービス		供給不足と感じるサービス	
		予防給付	介護給付	予防給付	介護給付
		回答 39	回答 51	回答 22	回答 52
居住系	1 訪問介護	-	32.9	-	30.4
	2 訪問入浴介護	-	2.5	-	8.9
	3 訪問看護	5.1	12.7	-	-
	4 訪問リハビリテーション	8.9	11.4	3.8	3.8
	5 居宅療養管理指導	-	3.8	-	2.5
	6 通所介護	-	53.2	-	1.3
	7 通所リハビリテーション	27.8	31.6	11.4	6.3
	8 短期入所生活介護	5.1	40.5	6.3	29.1
	9 短期入所療養介護	2.5	16.5	3.8	16.5
	10 特定施設入居者生活介護	1.3	3.8	1.3	3.8
	11 福祉用具の貸与	36.7	44.3	1.3	-
	12 福祉用具購入	20.3	24.1	-	-
	13 住宅改修	29.1	30.4	-	-
地域密着系	14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	3.8	-	8.9
	15 夜間対応型訪問介護	-	3.8	-	8.9
	16 地域密着型通所介護	3.8	3.8	2.5	2.5
	17 認知症対応型通所介護	1.3	2.5	5.1	7.6
	18 小規模多機能型居宅介護	-	2.5	5.1	8.9
	19 看護小規模多機能型居宅介護	1.3	-	6.3	6.3
	20 認知症対応型共同生活介護	1.3	3.8	2.5	3.8
	21 地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-
	22 地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-
	23 複合型サービス	-	1.3	-	1.3
	24 療養通所介護	-	-	-	1.3
施設系	25 介護老人福祉施設	-	20.3	-	13.9
	26 介護老人保健施設	-	17.7	-	8.9
	27 介護医療院	-	2.5	-	6.3
28 特にない		-	-	1.3	-
29 無回答		50.6	35.4	72.2	34.2
全体（n=79）		100.0	100.0	100.0	100.0

2. 利用者負担が2割または3割になった人のサービス利用の変化

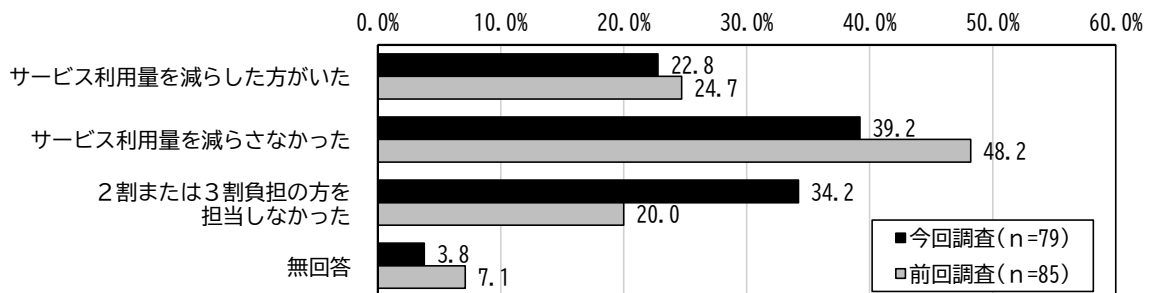
問10 利用者負担額が1割から2割、または3割になった方のサービス利用について、次の中からあてはまるものを選んでください。(○はひとつ)

○「サービス利用量を減らさなかった」(39.2%)の割合が最も高く、次いで「2割または3割負担の方を担当しなかった」(34.2%)、「サービス利用量を減らした方がいた」(22.8%)の順となっている。

○前回調査と比べ、「2割または3割負担の方を担当しなかった」は14.2ポイント増加した。

○所属別にみると、“居宅介護支援事業所”では「サービス利用量を減らさなかった」(46.4%)、“地域包括支援センター”では「サービス利用量を減らした方がいた」「2割または3割負担の方を担当しなかった」(ともに34.8%)の割合が最も高い。

図表5-3 利用者負担が2割または3割になった人のサービス利用の変化



図表5-4 所属別 利用者負担が2割または3割になった人のサービス利用の変化

		上段：実数、下段：%				
		調査数	減サービス利用量を減らした方がいた	減サービス利用量を減らさなかった	し負担2割または3割の方を担当した	無回答
全 体		79	18	31	27	3
		100.0	22.8	39.2	34.2	3.8
所 属	居宅介護支援事業所	56	10	26	19	1
		100.0	17.9	46.4	33.9	1.8
所 属	地域包括支援センター	23	8	5	8	2
		100.0	34.8	21.7	34.8	8.7

3. 「自宅」「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」の居住者で生活維持困難者の状況

問11 あなたがご担当されている「自宅」「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」にお住いの利用者のうち、あなたのケアマネジャーとしての判断に基づいて「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の方についてお伺いします。

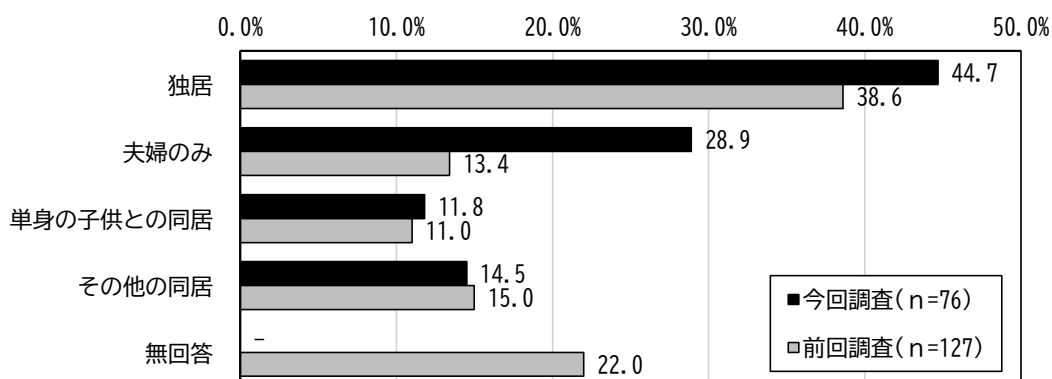
※例えば、「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者」、「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」が対象です。

(1) 対象となる利用者の状況

問11 (1) 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。

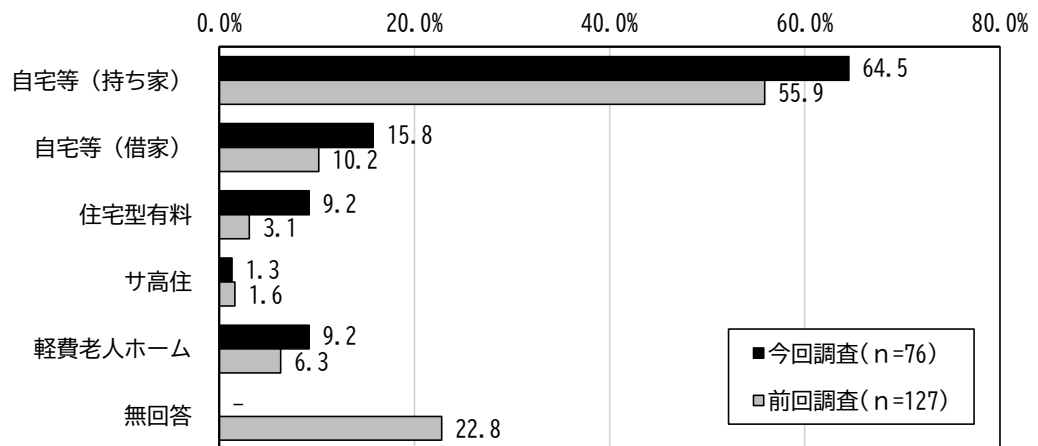
①世帯類型

図表55 世帯類型



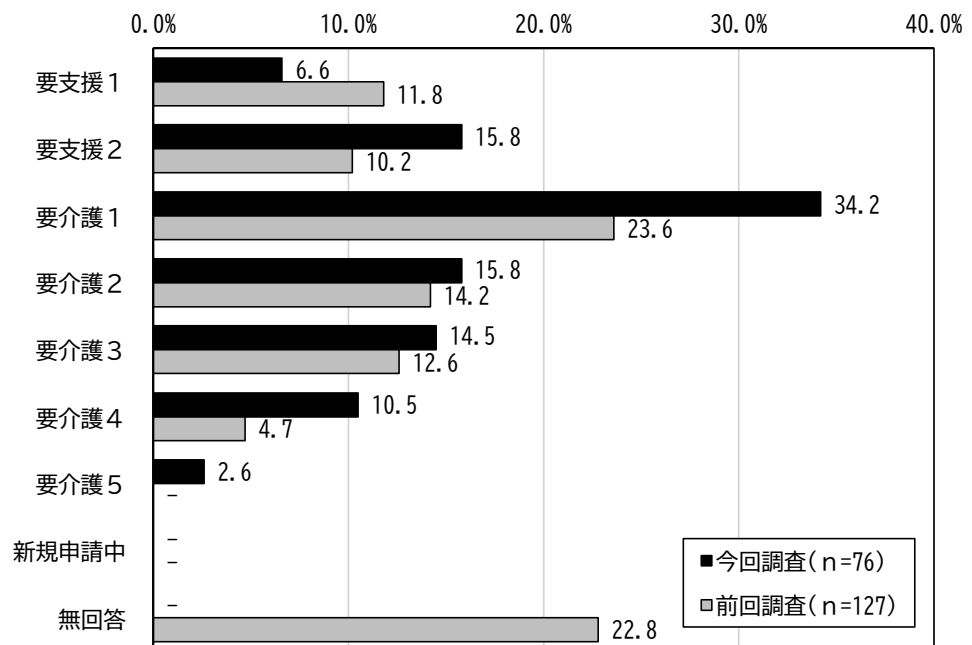
②現在の居所

図表5.6 現在の居所



③要支援・要介護度

図表5.7 要支援・要介護度



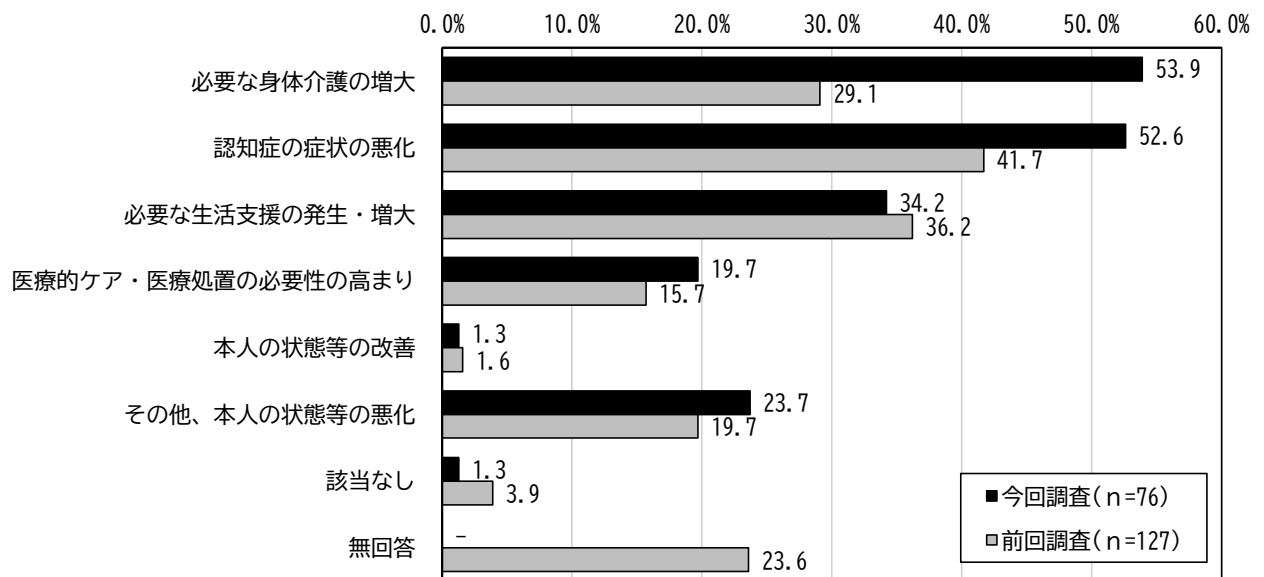
第5章 介護保険・高齢者福祉全般について

(2) 現在のサービス利用では、生活の維持が困難な理由

問11 (2) 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。

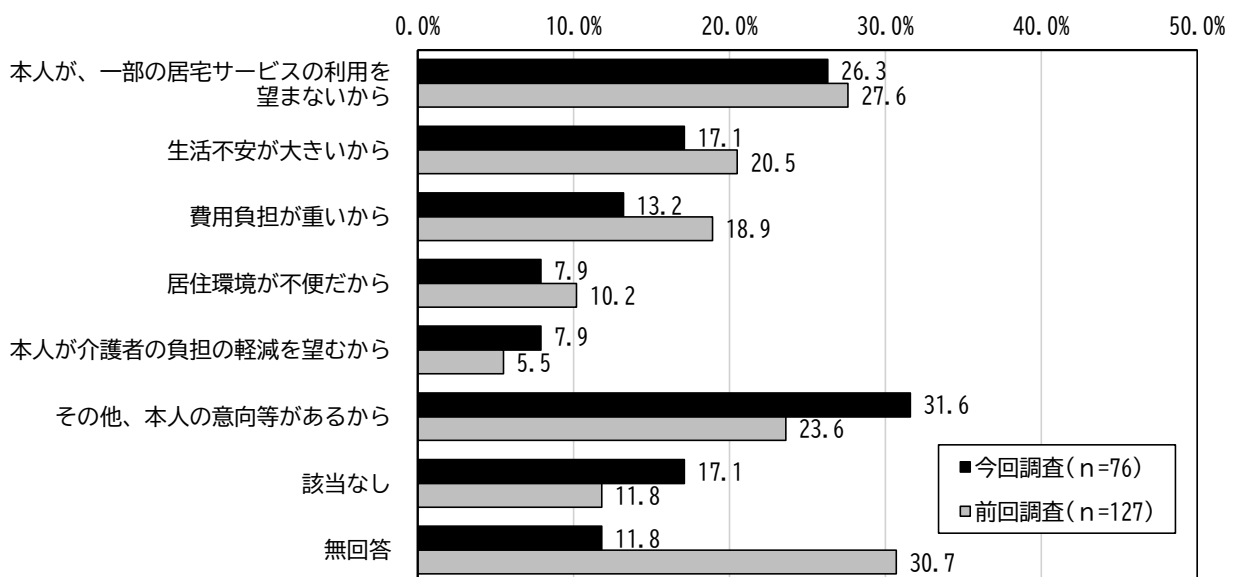
①本人の状態等に属する理由

図表58 本人の状態等に属する理由



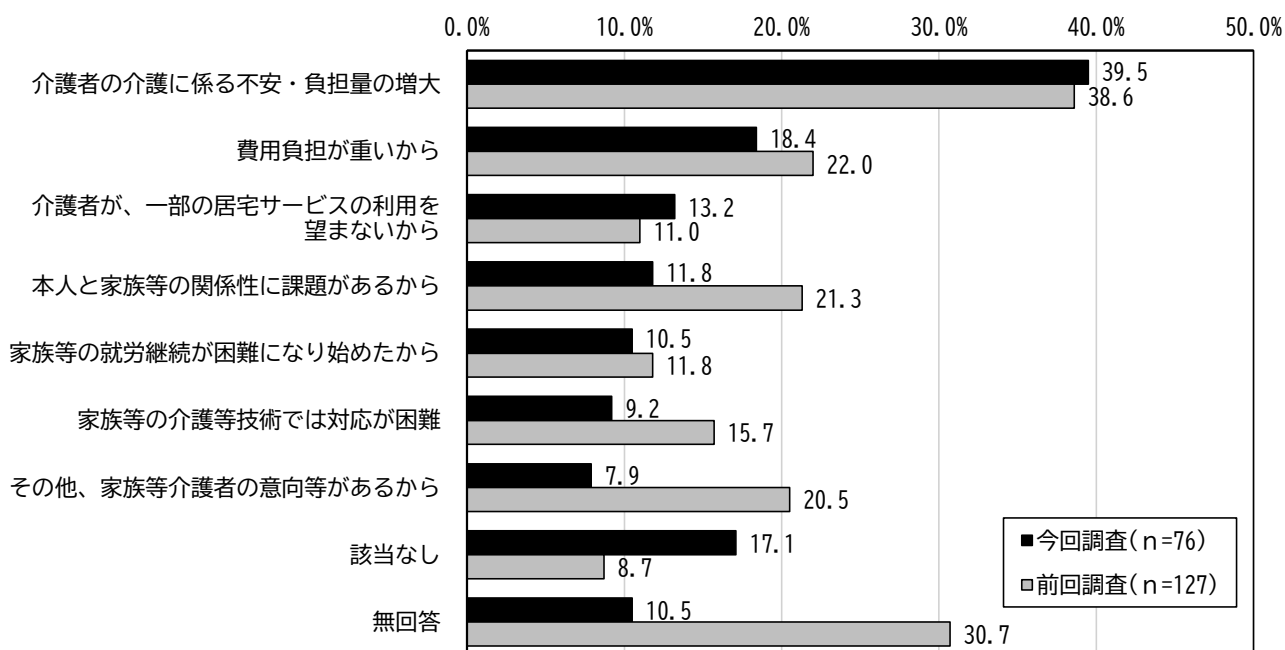
②主に本人の意向等に属する理由

図表59 主に本人の意向等に属する理由



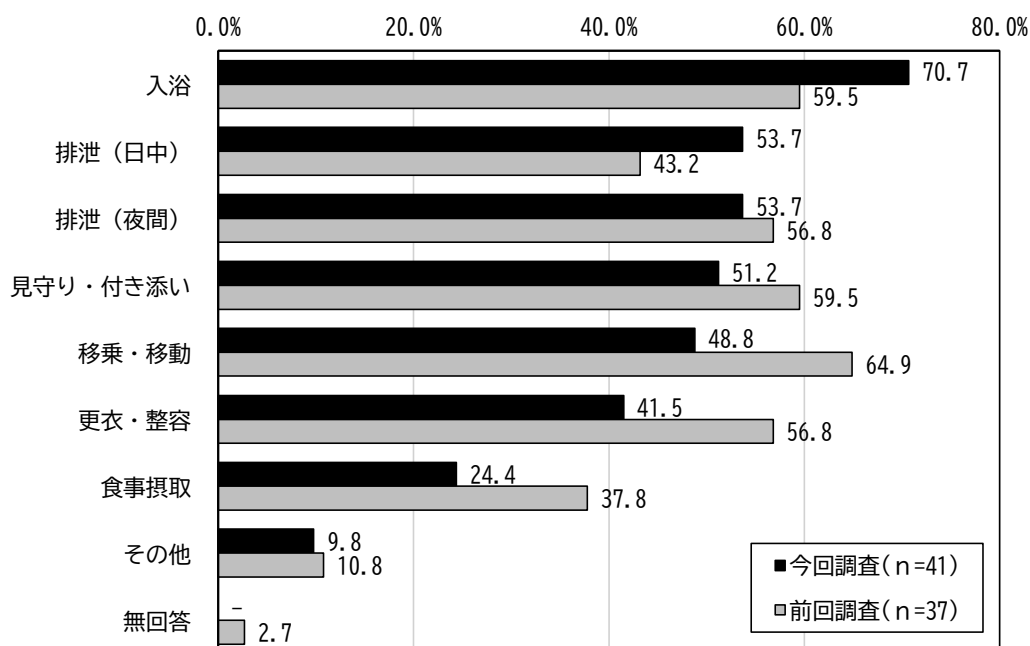
③主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由

図表60 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由



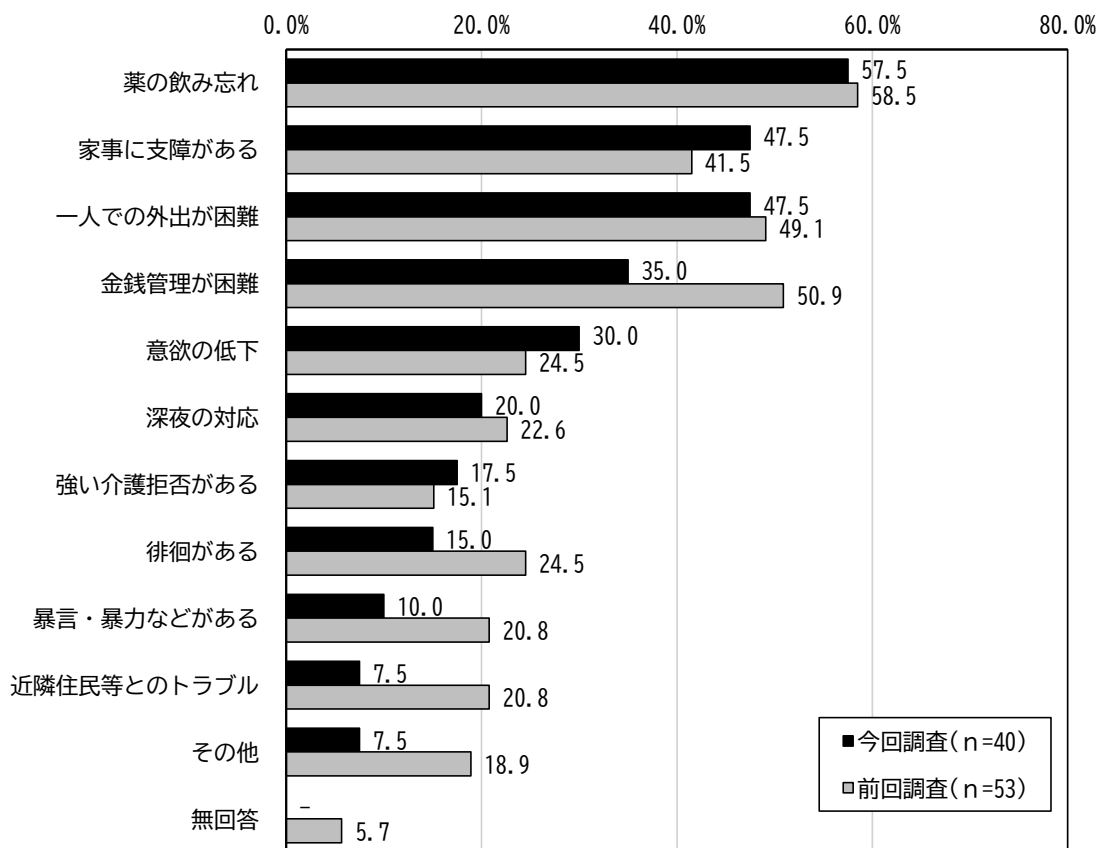
④「必要な身体介護の増大」を選択した方の具体的な身体介護の内容

図表61 「必要な身体介護の増大」を選択した方の具体的な身体介護の内容



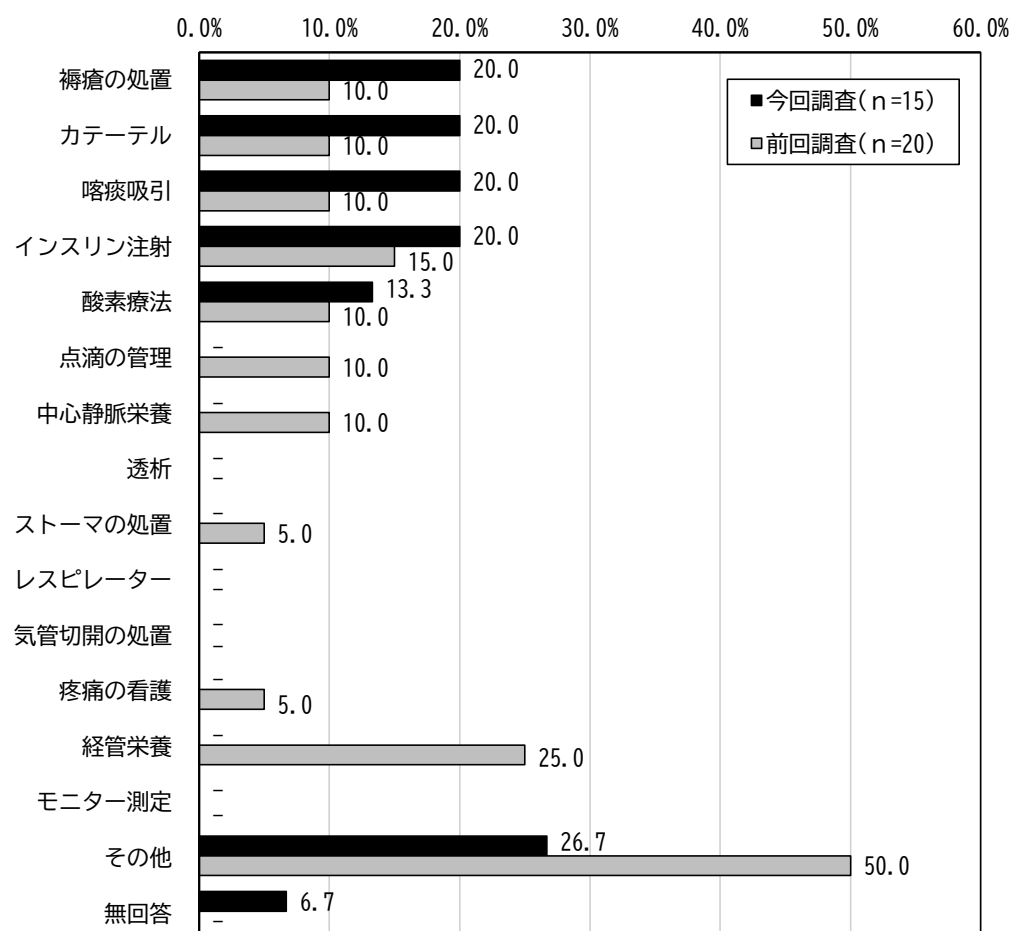
⑤「認知症の症状の悪化」を選択した方の具体的な認知症の症状

図表62 「認知症の症状の悪化」を選択した方の具体的な認知症の症状



⑥「医療的ケア等の必要性の高まり」を選択した方の具体的な医療的ケア等

図表6-3 「医療的ケア等の必要性の高まり」を選択した方の具体的な医療的ケア等



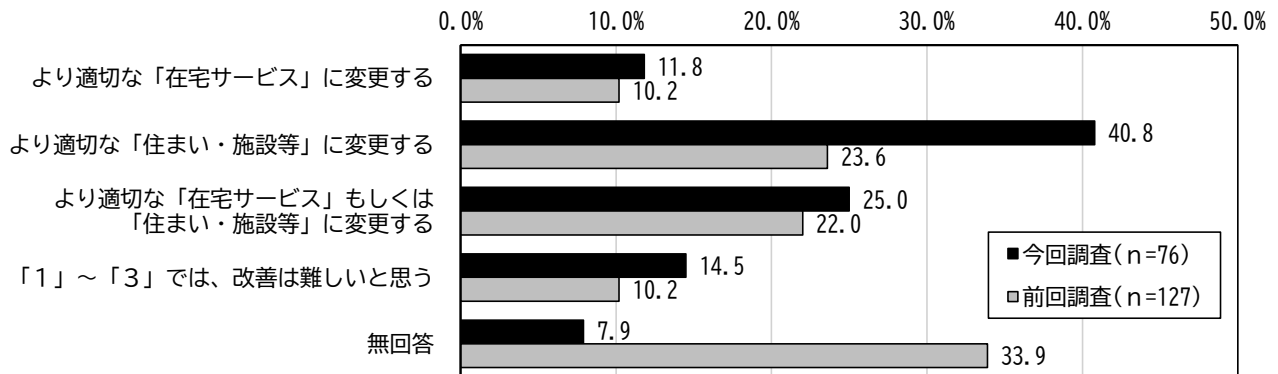
第5章 介護保険・高齢者福祉全般について

(3) 生活の維持困難を改善するためのサービス利用の変更等

問11 (3)「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

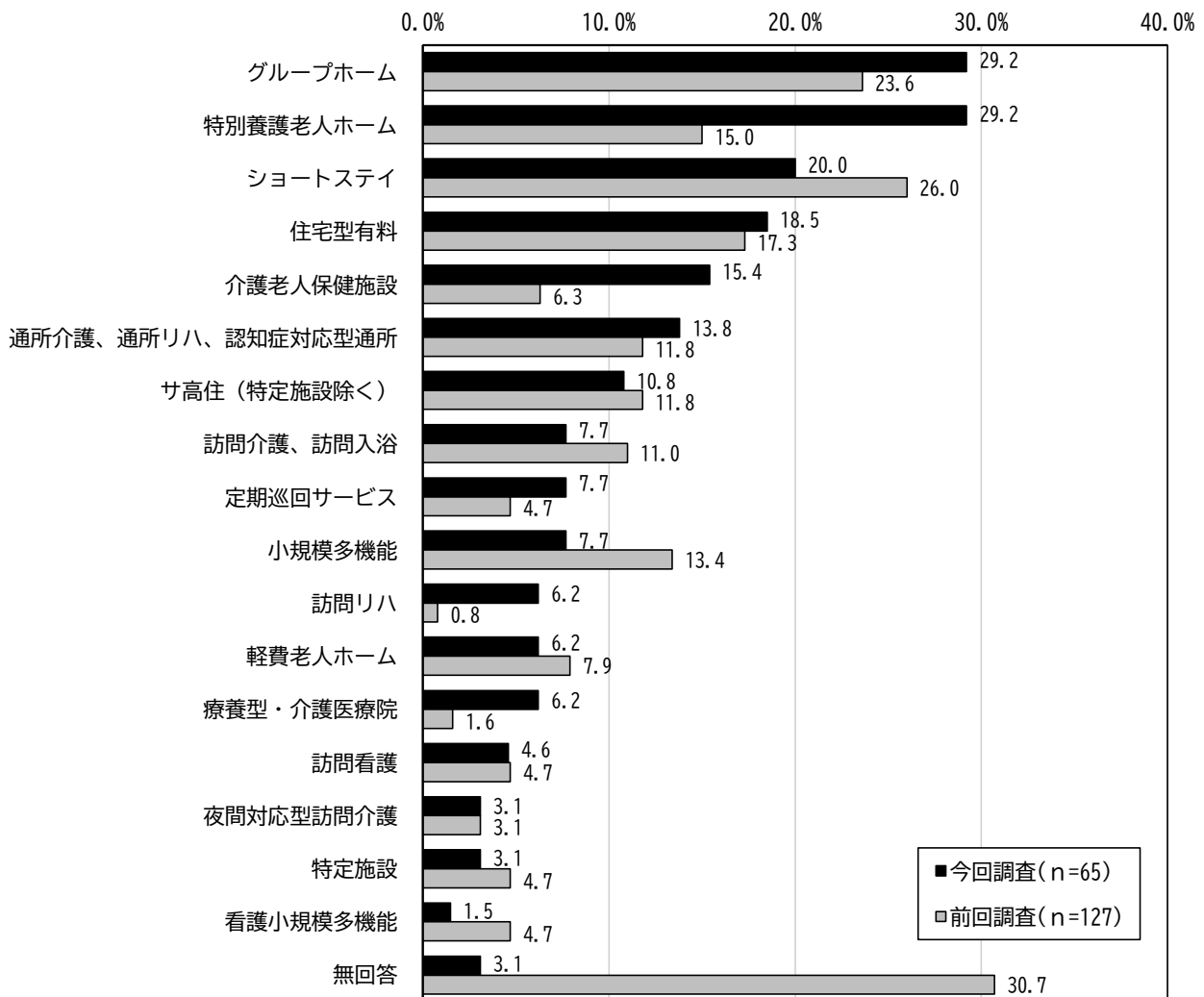
①改善するためのサービス変更

図表64 改善するためのサービス変更



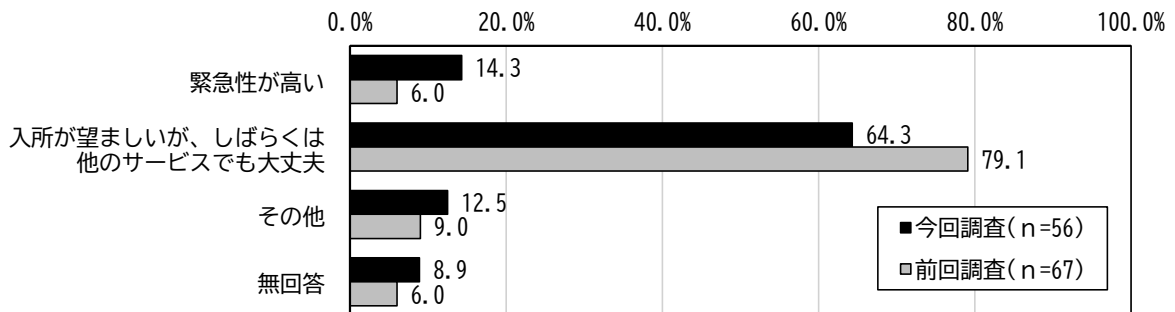
②より適切と思われる具体的なサービス

図表65 より適切と思われる具体的なサービス



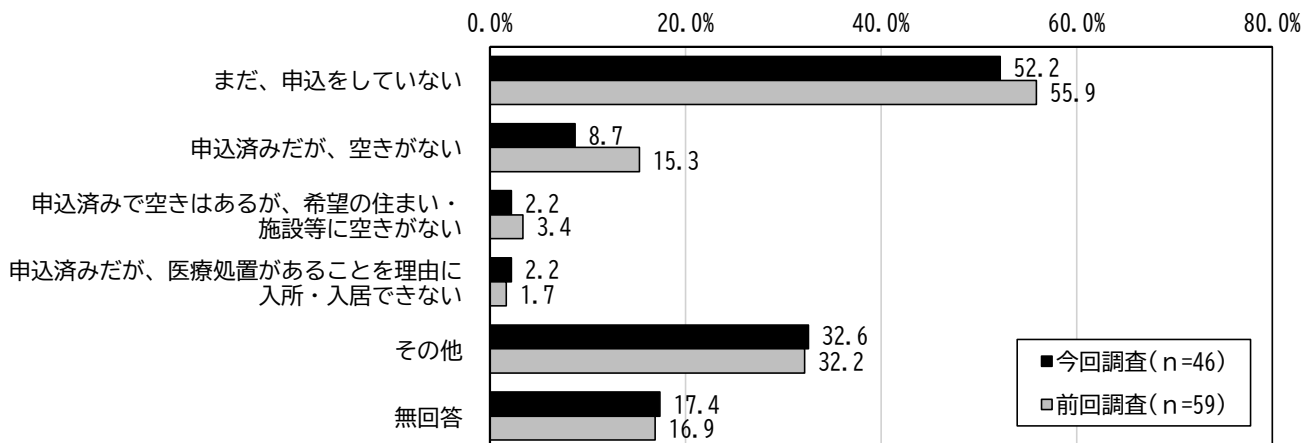
③住まい・施設等を選択した方の入所・入居の緊急度

図表6-6 住まい・施設等を選択した方の入所・入居の緊急度



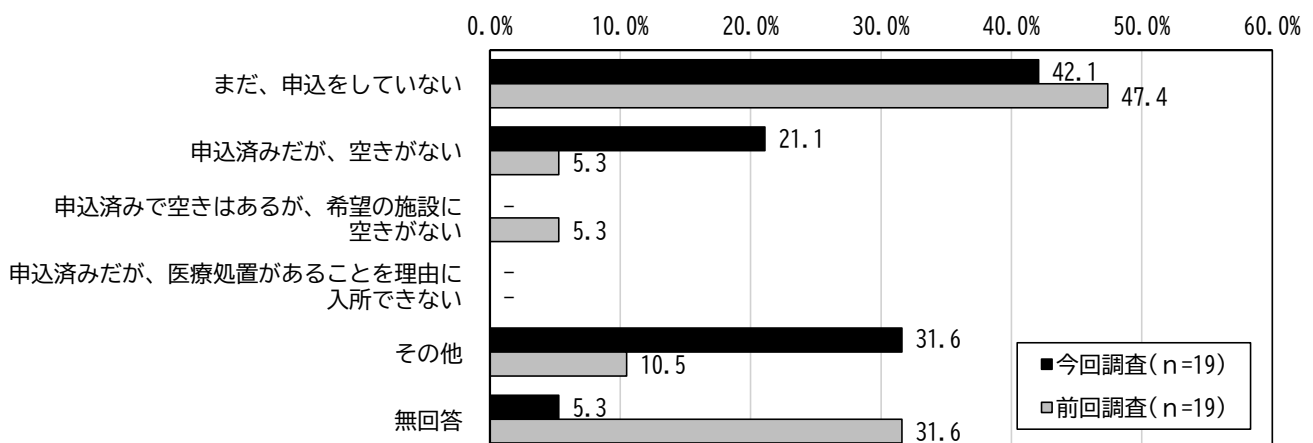
④特養以外の住まい・施設等を選択した方の入所・入居できていない理由

図表6-7 特養以外の住まい・施設等を選択した方の入所・入居できていない理由



⑤特養を選択した方の入所できていない理由

図表6-8 特養を選択した方の入所できていない理由

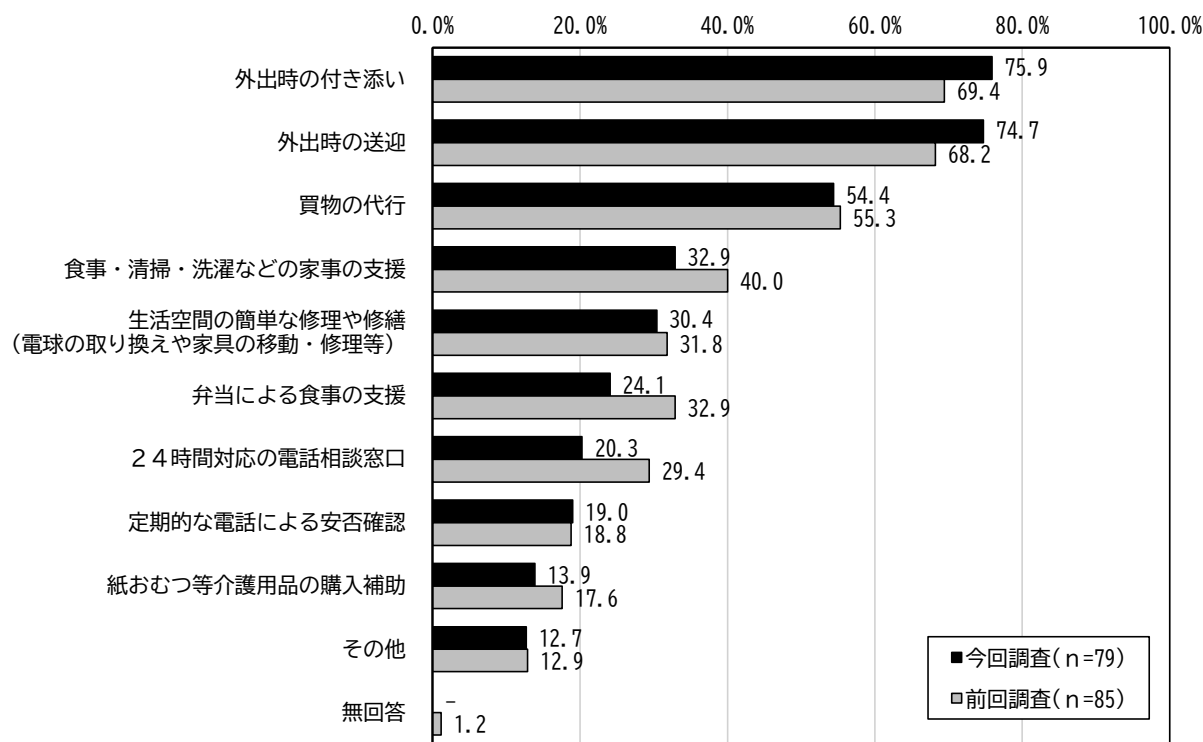


4. 高齢者の生活支援として必要なこと（インフォーマルサービスを含む）

問13 高齢者の在宅での生活支援のためには、インフォーマル（制度化されていない）サービスも含めて、今後どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 「外出時の付き添い」（75.9%）の割合が最も高く、次いで「外出時の送迎」（74.7%）、「買物の代行」（54.4%）の順となっている。
- 前回調査と比べ、上位2項目の「外出時の付き添い」と「外出時の送迎」、また「定期的な電話による安否確認」以外の項目は割合が下がり、特に「24時間対応の電話相談窓口」は9.1ポイント減少した。
- 所属別にみると、「居宅介護支援事業所」では「外出時の送迎」「外出時の付き添い」（ともに69.6%）、「地域包括支援センター」では「外出時の付き添い」（91.3%）の割合が最も高い。

図表69 高齢者の生活支援として必要なこと（インフォーマルサービスを含む）



図表70 所属別 高齢者の生活支援として必要なこと（インフォーマルサービスを含む）

		調査数	食事・清掃・洗濯などの家事支援	24時間対応の電話相談窓口	買物の代行	生活空間の簡単な修理や修繕（電球の取り換えや家具の移動・修理等）	外出時の送迎	外出時の付き添い	紙おむつ等介護用品の購入補助	定期的な電話による安否確認	弁当による食事の支援	その他	無回答
全体		79	26	16	43	24	59	60	11	15	19	10	-
		100.0	32.9	20.3	54.4	30.4	74.7	75.9	13.9	19.0	24.1	12.7	-
所属	居宅介護支援事業所	56	21	15	33	16	39	39	10	10	14	6	-
		100.0	37.5	26.8	58.9	28.6	69.6	69.6	17.9	17.9	25.0	10.7	-
地域包括支援センター		23	5	1	10	8	20	21	1	5	5	4	-
		100.0	21.7	4.3	43.5	34.8	87.0	91.3	4.3	21.7	21.7	17.4	-

5. 介護サービス等の充実のために八女市に期待すること

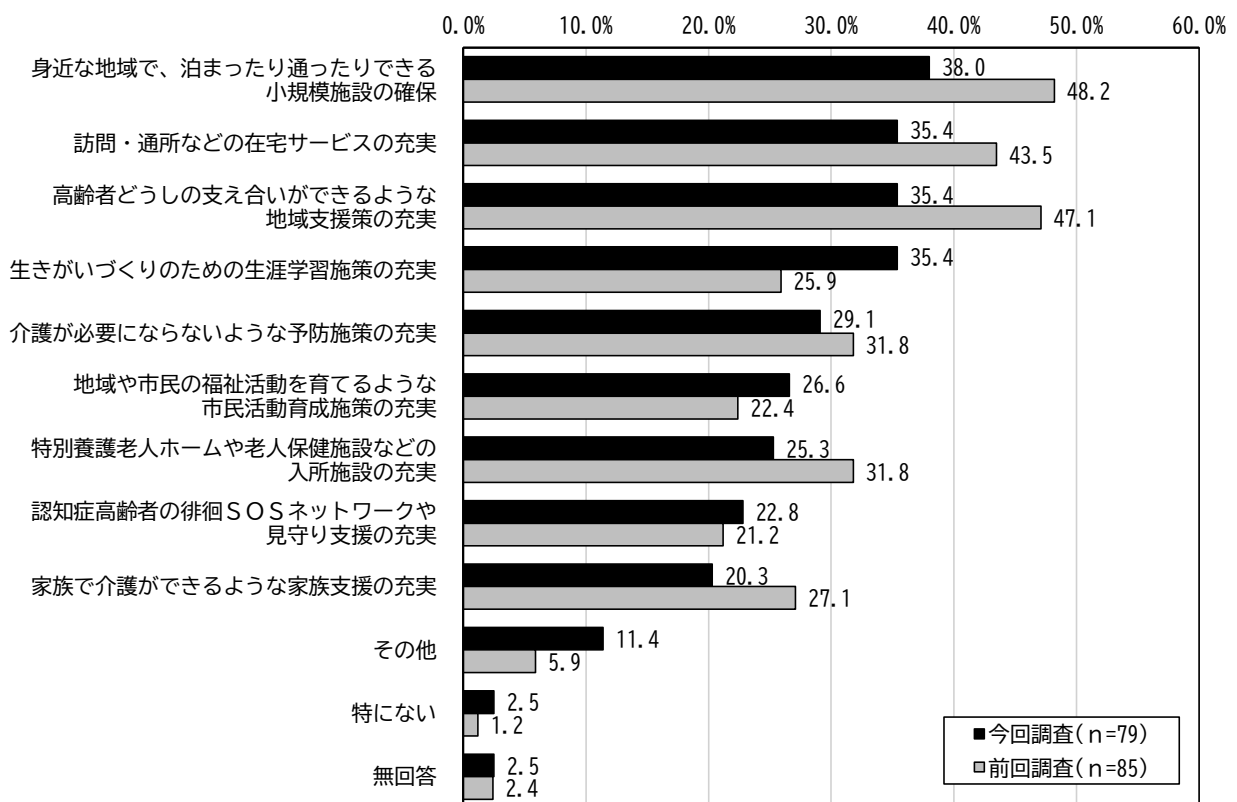
問14 高齢者への介護サービスの充実のため、あなたは、八女市にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)

○「身近な地域で、泊まったり通ったりできる小規模施設の確保」(38.0%)の割合が最も高く、次いで「訪問・通所などの在宅サービスの充実」「高齢者どうしの支え合いができるような地域支援策の充実」「生きがいきづくりのための生涯学習施策の充実」(すべて35.4%)、「介護が必要にならないような予防施策の充実」(29.1%)の順となっている。

○前回調査と比べ、「高齢者どうしの支え合いができるような地域支援策の充実」は11.7ポイント、「身近な地域で、泊まったり通ったりできる小規模施設の確保」は10.2ポイント減少した。

○所属別にみると、“居宅介護支援事業所”では「訪問・通所などの在宅サービスの充実」(37.5%)、“地域包括支援センター”では「生きがいきづくりのための生涯学習施策の充実」(47.8%)の割合が最も高い。

図表71 介護サービス等の充実のために八女市に期待すること



第5章 介護保険・高齢者福祉全般について

図表7-2 所属別 介護サービス等の充実のために八女市に期待すること

上段：実数、下段：％

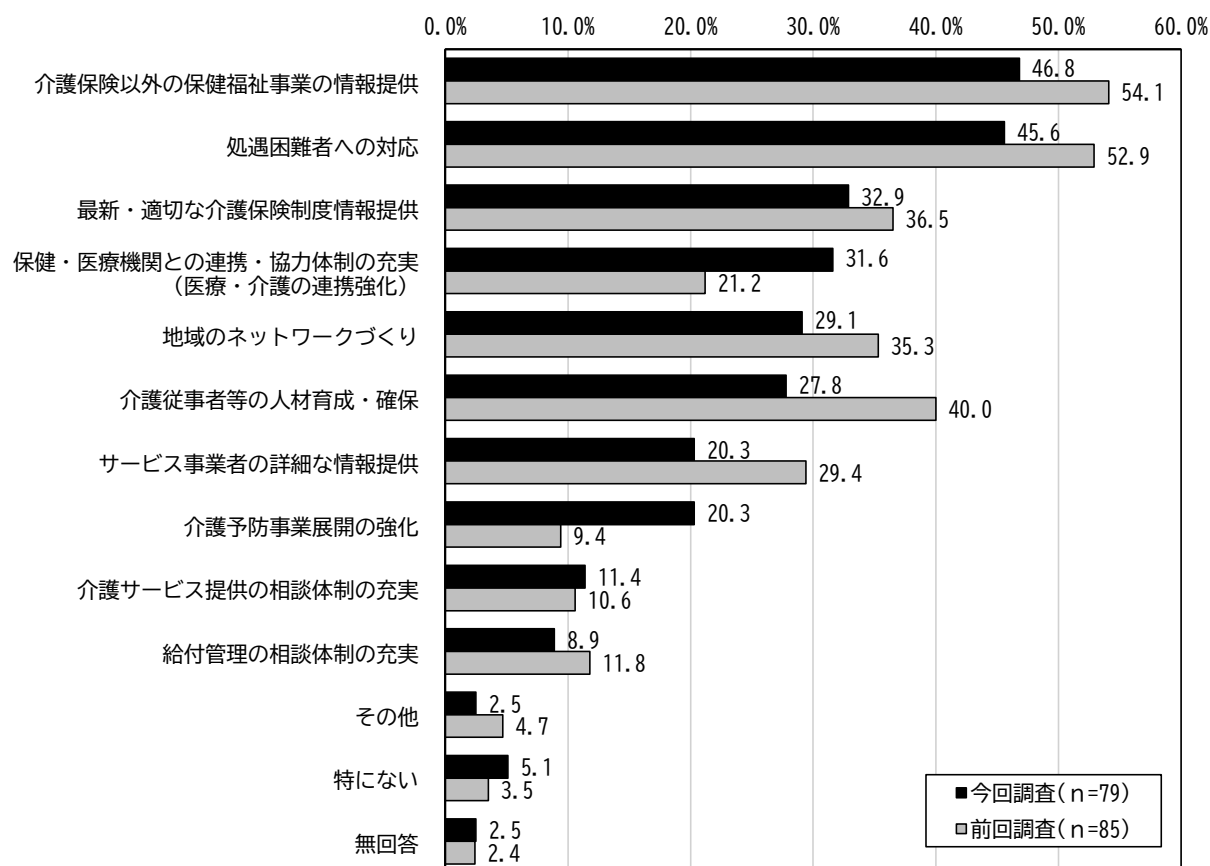
		調査数	訪問・通所などの在宅サービス等の充実	特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所施設の充実	身近な地域で、泊まつたりできる小規模施設の確保	高齢者どうしの支え合いができるような地域支援策の充実	認知症高齢者の徘徊SOSの充実	地域や市民の福祉活動策の充実	家族で介護ができるような家族支援の充実	介護が必要な予防施策の充実	生涯学習施策の充実	その他	特になし	無回答
全 体		79 100.0	28 35.4	20 25.3	30 38.0	28 35.4	18 22.8	21 26.6	16 20.3	23 29.1	28 35.4	9 11.4	2 2.5	2 2.5
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	21 37.5	17 30.4	20 35.7	19 33.9	14 25.0	12 21.4	12 21.4	15 26.8	17 30.4	4 7.1	2 3.6	2 3.6
	地域包括支援センター	23 100.0	7 30.4	3 13.0	10 43.5	9 39.1	4 17.4	9 39.1	4 17.4	8 34.8	11 47.8	5 21.7	-	-

6. 保険者（八女市）に望むこと

問15 保険者である八女市に望むことはありますか。（〇はいくつでも）

- 「介護保険以外の保健福祉事業の情報提供」（46.8%）の割合が最も高く、次いで「処遇困難者への対応」（45.6%）、「最新・適切な介護保険制度情報提供」（32.9%）の順となっている。
- 前回調査と比べ、「介護予防事業展開の強化」は10.9ポイント、「保健・医療機関との連携・協力体制の充実（医療・介護の連携強化）」は10.4ポイント増加し、一方「介護従事者等の人材育成・確保」は12.2ポイント減少した。
- 所属別にみると、“居宅介護支援事業所”では「処遇困難者への対応」（53.6%），“地域包括支援センター”では「介護保険以外の保健福祉事業の情報提供」（43.5%）の割合が最も高い。

図表73 保険者（八女市）に望むこと



第5章 介護保険・高齢者福祉全般について

図表74 所属別 保険者（八女市）に望むこと

上段：実数、下段：%

	調査数	最新・適切な介護保険制度情報提供	サービス事業者の詳細な情報提供	介護保険以外の保健福祉事業の情報提供	給付管理の相談体制の充実	介護サービス提供の相談体制の充実	処遇困難者への対応	地域のネットワークづくり	介護予防事業展開の強化	保健・医療機関との連携・協力体制の充実（医療・介護の連携強化）	介護従事者等の人材育成・確保	その他	特になし	無回答
全 体	79 100.0	26 32.9	16 20.3	37 46.8	7 8.9	9 11.4	36 45.6	23 29.1	16 20.3	25 31.6	22 27.8	2 2.5	4 5.1	2 2.5
所 属	居宅介護支援事業所	56 100.0	22 39.3	13 23.2	27 48.2	5 8.9	8 14.3	30 53.6	15 26.8	8 14.3	18 32.1	19 33.9	2 3.6	2 3.6
	地域包括支援センター	23 100.0	4 17.4	3 13.0	10 43.5	2 8.7	1 4.3	6 26.1	8 34.8	7 30.4	3 13.0	-	2 8.7	-

7. 八女市の高齢者福祉・介護施策に対する意見

問16 介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

別添資料参照